

施策評価調書(1)

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

めざす姿	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”
施策名	1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進
施策関係課	(建設部)道路街路課／(都市計画部)都市計画課・住宅政策課・開発審査課・建築安全課／(都市整備部)都市整備管理課・再開発課・市街地整備室・区画整理課・区画整理組合推進室・西部土地区画整理事務所・東部土地区画整理事務所・北部土地区画整理事務所・里土地区画整理事務所

●施策の基本方針(目標)
適正な土地利用と適切な都市機能の配置を図り、環境にやさしく災害に強い、機能的で、誰もが快適で安全・安心に生活できる持続可能な都市の形成をめざします。

●目標指標						
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:V-1)			単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	27.5(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値	25.200	27.300	27.400	26.900	0.000
指標②	名称	土地区画整理事業の進捗率			単位	%
	目標値	65.0(令和7年度)	現状値	58.0(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値	59.700	60.600	61.200	62.100	0.000
指標③	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					
指標④	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					
指標⑤	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
	事業費	5,656,787	5,371,823	7,059,951	8,392,135	11,119,714
	概算人件費	849,822	859,166	890,409	1,026,432	1,016,251
	総事業費	6,506,609	6,230,989	7,950,360	9,418,567	12,135,965

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策①	単位施策②	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
		52	55	56	
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B	53	54	54.0	

施策評価調書(2)

評価対象年度

令和6年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名	① 計画的な土地利用の推進								
	事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
川口元郷1丁目2番地区優良建築物等整備事業	都市整備部 再開発課	—	0	10,758	22,580	126,740	56	拡充して実施	
		—	3,465	3,555	4,212	4,731			
都市計画事業	都市計画部 都市計画課	5,643	9,658	17,243	21,402	12,994	54	縮小して実施	
		17,380	16,940	19,750	23,085	23,655			
都市計画基礎調査事業	都市計画部 都市計画課	7,205	2,860	1,340	3,245	3,685	48	現状維持で実施	
		3,950	3,850	1,580	2,835	2,905			
都市計画審議会経費	都市計画部 都市計画課	196	396	273	266	444	56	現状維持で実施	
		2,765	2,695	2,765	2,835	2,905			
川口駅東口公共広場管理事業	都市整備部 都市整備管理課	5,648	5,460	6,167	8,171	9,943	48	現状維持で実施	
		5,925	5,390	6,320	8,748	13,280			

単位施策名	② 市街地整備の推進								
	事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
川口本町4丁目9番地区第一種市街地再開発事業	都市整備部 再開発課	135,810	0	1,645,702	1,246,922	1,808,500	56	拡充して実施	
		12,640	12,320	11,455	12,312	12,201			
市街地総合事業協議会支援事業	都市整備部 再開発課	200	200	200	200	135	54	現状維持で実施	
		3,950	3,850	3,950	4,050	4,150			
桜町地区住宅市街地総合整備事業	都市整備部 再開発課	14,932	21,202	10,785	74,491	64,888	54	現状維持で実施	
		15,800	18,480	22,120	22,680	25,315			
芝中央沿道第1土地区画整理事業	都市整備部 市街地整備室	202,550	29,061	104,322	141,985	101,691	56	現状維持で実施	
		19,355	18,865	19,355	19,845	20,335			
芝中央沿道土地区画整理事業	都市整備部 市街地整備室	36,113	67,903	36,962	144,344	—	58	完了	
		3,160	3,080	3,160	3,240	—			
芝地区住宅市街地総合整備事業	都市整備部 市街地整備室	225,523	272,484	299,545	663,639	742,686	58	縮小して実施	
		34,997	34,111	34,997	35,883	36,769			
芝中央地区住宅市街地総合整備事業	都市整備部 市街地整備室	29,585	17,473	84,149	35,650	244,895	56	拡充して実施	
		7,900	7,700	7,900	8,100	8,300			
新井宿駅北側及び戸塚安行駅南側地区区画整理事業	都市整備部 区画整理課	46,090	71,026	26,719	49,275	69,164	54	現状維持で実施	
		18,960	18,480	20,540	21,060	21,580			
組合区画整理推進事業費	都市整備部 区画整理組合推進室	323,140	392,523	605,160	500,037	662,481	48	拡充して実施	
		126,400	123,200	126,400	129,600	132,800			
芝東第3地区住宅市街地総合整備事業	都市整備部 西部土地区画整理事務所	26,363	28,542	18,108	27,626	36,500	54	拡充して実施	
		11,850	11,550	11,850	12,150	12,450			
芝東第4地区住宅市街地総合整備事業	都市整備部 西部土地区画整理事務所	53,681	55,778	41,997	42,459	42,268	54	拡充して実施	
		11,850	11,550	11,850	12,150	12,450			
芝東第3事業費	都市整備部 西部土地区画整理事務所	293,453	353,186	347,800	431,181	661,088	56	拡充して実施	
		37,525	42,350	43,450	42,525	48,700			
芝東第4事業費	都市整備部 西部土地区画整理事務所	706,438	650,757	587,263	536,599	795,510	56	拡充して実施	
		43,450	42,350	43,450	42,525	48,700			
芝東第5事業費	都市整備部 西部土地区画整理事務所	66,193	78,087	109,982	107,194	85,182	54	拡充して実施	
		15,800	15,400	15,800	14,175	19,650			

単位施策名	② 市街地整備の推進								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性	
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費			
芝東第6事業費	都市整備部 西部土地区画整理事務所	21,192	22,174	12,466	63,010	177,673	54	拡充して実施	
		15,800	15,400	15,800	14,175	19,650			
新郷東部第2事業費	都市整備部 東部土地区画整理事務所	647,646	853,139	508,002	1,001,174	1,063,697	56	拡充して実施	
		94,800	92,400	85,320	105,300	116,200			
石神西立野特定事業費	都市整備部 北部土地区画整理事務所	728,169	623,999	669,443	769,925	1,224,419	56	拡充して実施	
		63,200	61,600	63,200	68,850	70,550			
安行藤八特定事業費	都市整備部 北部土地区画整理事務所	625,061	528,810	490,082	739,996	943,278	56	拡充して実施	
		63,200	61,600	63,200	68,850	87,150			
里地区住宅市街地総合整備事業	都市整備部 里土地区画整理事務所	278,827	150,941	72,230	332,874	228,690	56	拡充して実施	
		23,700	23,100	23,700	24,300	24,900			
里事業費	都市整備部 里土地区画整理事務所	813,968	692,386	607,680	684,075	857,822	56	拡充して実施	
		63,200	61,600	63,200	64,800	66,400			
開発審査事業	都市計画部 開発審査課	484	464	2,221	808	927	58	現状維持で実施	
		55,300	53,900	55,300	56,700	58,100			
その他開発審査事業	都市計画部 開発審査課	—	—	—	10,643	—	54	休止	
		—	—	—	24,300	—			
西川口駅周辺地区まちづくり協議会支援事業	都市整備部 再開発課	65	65	0	0	—	38	休止	
		2,310	2,310	1,817	972	—			
芝東第4事業選挙費	都市整備部 西部土地区画整理事務所	—	—	—	8,938	—	58	休止	
		—	—	—	4,050	—			
芝東第5事業選挙費	都市整備部 西部土地区画整理事務所	—	—	—	5,708	—	58	休止	
		—	—	—	4,050	—			
石神西立野特定事業選挙費	都市整備部 北部土地区画整理事務所	—	—	—	3,542	—	56	休止	
		—	—	—	48,600	—			

単位施策名	③ 美しくうるおいのある景観形成の推進								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性	
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費			
景観形成委員会経費	都市計画部 都市計画課	125	80	45	73	135	56	現状維持で実施	
		1,975	1,925	1,975	2,025	2,075			

単位施策名	④ 鉄道駅周辺整備の推進								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性	
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費			
川口駅周辺まちづくり検討事業	都市計画部 都市計画課	—	12,260	12,848	18,891	29,942	50	拡充して実施	
		—	5,775	5,530	5,670	5,810			
六間通り線機能・魅力向上事業	建設部 道路街路課	0	0	273,972	194,750	552,622	52	現状維持で実施	
		0	0	11,850	12,150	12,450			
川口駅周辺街路整備事業	建設部 道路街路課	—	—	—	0	33,309	56	現状維持で実施	
		—	—	—	8,100	8,300			

単位施策名	⑤ 良好な住環境の整備							
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
民間建築物アスベスト対策補助事業	都市計画部	0	3,000	3,000	3,000	3,000	56	現状維持で実施
	建築安全課	0	1,540	1,580	1,620	1,660		
住宅政策事業	都市計画部	716	57,834	71,218	70,272	55,283	54	現状維持で実施
	住宅政策課	7,900	19,250	19,750	20,250	20,750		
空家等対策事業	都市計画部	5,977	5,824	3,575	3,704	12,553	48	拡充して実施
	住宅政策課	23,700	15,400	15,800	16,200	16,600		
マンション対策事業	都市計画部	—	1,860	2,544	2,758	3,301	52	現状維持で実施
	住宅政策課	—	7,700	7,900	8,100	8,300		
市営住宅施設運営費	都市計画部	68,951	68,650	67,282	68,161	68,309	58	現状維持で実施
	住宅政策課	3,160	3,080	3,160	3,240	3,320		
市営住宅施設管理費	都市計画部	277,071	281,326	290,634	323,751	336,366	56	現状維持で実施
	住宅政策課	7,900	7,700	7,900	8,100	8,300		
建築審査会経費	都市計画部	674	577	606	864	1,283	56	現状維持で実施
	建築安全課	7,900	7,700	7,900	8,100	8,300		
道路後退用地分筆補助事業	都市計画部	680	1,565	954	1,566	9,600	52	現状維持で実施
	建築安全課	3,160	3,080	3,160	3,240	3,320		
既存建築物耐震改修促進補助事業	都市計画部	6,725	5,402	4,630	6,946	19,529	54	現状維持で実施
	建築安全課	15,800	15,400	15,800	16,200	16,600		
既存ブロック塀等安全対策補助事業	都市計画部	1,693	4,871	6,231	4,404	6,000	56	現状維持で実施
	建築安全課	3,160	3,080	3,160	3,240	3,320		
狭あい道路拡幅整備事業	都市計画部	—	—	5,813	15,036	23,182	52	現状維持で実施
	建築安全課	—	—	3,160	3,240	3,320		

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	川口元郷1丁目2番地区優良建築物等整備事業				担当	都市整備部 再開発課
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-280-1224	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和4年度	～	令和7年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-① 計画的な土地利用の推進		
根拠法令等	社会資本整備総合交付金交付要綱、川口市優良建築物等整備事業補助金交付要綱		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
当該地は、接道状況が悪く、有効な土地活用がなされてない ことから、市街地の整備改善等に資するため、土地の有効活 用、高度化等に寄与する優良建築物等を推進し、公共の福 祉に寄与することを目的とする。			優良建築物等整備事業を活用し、公共的通路の整備による回遊性の 向上と地域貢献施設や共同住宅の複合施設の整備等を行うことで、土 地の高度利用を図るもの。
①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
施設建築物の工事、工事監理に係る補助金交付手続き業務 並びに整備内容等への指導・監督・助言等を行った。			優良建築物等整備事業を施行する事業者に対し、補助金を交付。 交付額 22,580,000円
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
施設建築物工事の工程計画実現			令和6年度は国からの交付金が予算額に達しなかったため指標の目 標を達成することができなかったが、当事業における指導・監督・助言 を行い、大きな問題もなく施設建築物の工事は順調に進んでおり、適 切な事業進捗が図られた。 施設建築物工事進捗率 16.75% (累計29.74%)

3 事業活動・成果の状況

指 標 ①	名称	事業進捗状況			指標・目標値の 説明(算定式)	各年度までの補助事業費／全体補助事業費
	単位	%	指標の種別	活動		
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績値・達成状況	14.52	8.38	48.61	100.00	—
指 標 ②	名称					
	単位	指標の種別		指標・目標値の 説明(算定式)		
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度
	実績値・達成状況	0.00	6.97	未達成	20.83	未達成

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	8 目	7 細目	1 細々目	川口元郷1丁目2番地区優良建築物等整備事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		18,350	11,830	64,280	126,740	0		
決算額(B)=(C)+(D)		0	10,758	22,580				
財 源 ※	特定財源(C)	0	5,379	11,290	63,370			
	一般財源(D)	0	5,379	11,290	63,370			
	概算人件費(E)	3,465	3,555	4,212	4,731	0		
従事職員人件費(人)	常勤	0.45	0.00	0.45	0.00	0.57	0.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		3,465	14,313	26,792	131,471	0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必 要 性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有 効 性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効 率 性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公 平 性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	拡充して実施
56 /60	令和6年度は国からの交付金が予算額に達しなかったため指標の目標を達成することができなかったが、事業者負担の増額や工程の見直しにより、適切な事業進捗が図られた。令和7年度の事業完了に向け、事業者に対して行政手続きのサポートや適切な助言を行うとともに、関係部局との連携を強化し、事業の円滑な推進を図る。		完了

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	都市計画事業			担当	都市計画部 都市計画課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	242-6331	新規・継続 継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	V	誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-① 計画的な土地利用の推進		
根拠法令等	都市計画法、都市再生特別措置法			

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	国全体の課題である少子高齢化・人口減少局面への対応や、鉄道駅周辺の利便性・回遊性の向上、安全で快適な道路交通空間の整備等、地域ごとの課題に対し、持続可能なまちづくりへ向けた市街地環境の整備を図るもの。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市機能及び居住機能の集約などに向けた調査を進めた。 樹モールプラザ沿道空地において社会実験を実施した。 都市計画道路末広新郷線及び青木神戸線における現況・将来交通量配分の調査を行った。 		
	<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市機能及び居住機能集約の必要性や検討項目等を整理した。 樹モールプラザの前の公園空地内に椅子・テーブル等のファニチャーを令和6年10月下旬から約1か月間設置し、賑わい再生に向けた社会実験を行った。 都市計画道路末広新郷線及び青木神戸線の計画幅員縮小のための根拠となる調査結果を得た。 		
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>本市において、市民が安心・安全に生活できるまちづくりに向けて今後、都市機能及び居住機能の集約が必要であることを理解した。また、賑わい再生に向けた社会実験により、居心地がよいと感じた方が約96%と肯定的な評価を得ることができたとともに、都市計画道路の計画変更に向け、関係機関との協議を進めた。</p>		
	<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <p>各種まちづくり施策を推進することができた一方で誰もが快適で安全・安心に生活できる持続可能な都市を形成するため、引き続き適正な土地利用と適切な都市機能の配置を検討する必要がある。</p> <p>川口市道路網計画のうち、4路線の手続きが完了している状況であり、他の事業計画の進捗等を考慮しながら順次計画の変更を行う必要がある。</p>		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別								
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況									
指標②	名称									
	単位	指標の種別								
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	1 目	3 細目	1 細々目	都市計画事業	
年度		令和4年度	令和5年度			令和6年度		令和7年度	令和8年度
予算額(A)		10,306	17,290			22,456		12,994	9,511
決算額(B)=(C)+(D)		9,658	17,243			21,402			
財源※	特定財源(C)	0	0			1,954		0	
	一般財源(D)	9,658	17,243			19,448		12,994	
概算人件費(E)		16,940	19,750			23,085		23,655	23,655
従事職員人件費(人)	常勤	2.20	0.00	2.50	0.00	2.85	0.00	2.85	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		26,598	36,993			44,487		36,649	33,166

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	国全体の課題である少子高齢化・人口減少などの社会経済状況への対応や、都市の健全な発展に向けては、都市機能及び居住機能の適切な配置と都市計画道路の早期の完成が求められる。そこで、その実現に向け、適正な土地利用、また道路ネットワークの検討や関係機関との協議を引き続き行う必要がある。	翌年度	縮小して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	都市計画基礎調査事業				担当	都市計画部 都市計画課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	242-6332	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 43 年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-① 計画的な土地利用の推進			
根拠法令等	都市計画法			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	都市計画法に基づき、都市現況及び将来の見通しを定期的に把握し、各種都市計画やまちづくり事業の施策検討に活用するもの。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	・市全域の土地利用現況調査 ・市全域の用途別・階層別建物現況調査		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	市全域の土地利用現況の推移の把握 市全域の用途別・階層別建物現況の推移の把握		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	都市計画や各種まちづくりの検討にあたって、常に正確な都市の状況を把握しておく必要があることから、当調査による都市の動向や状況の収集・整理を行うことにより、常に正確で適時適切な都市計画の検討が進められた。		
	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	当調査により、常に正確で適時適切な都市の動向や状況の収集・整理ができている一方で、本調査で得たデータについて、各種まちづくり施策の各過程において視覚的に把握するための可視化が図られていないことが課題である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	1 目	3 細目	2 細々目	都市計画基礎調査事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		3,052		1,407		3,454		3,685
決算額(B)=(C)+(D)		2,860		1,340		3,245		10,162
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0
	一般財源(D)	2,860		1,340		3,245		3,685
	概算人件費(E)	3,850		1,580		2,835		2,905
従事職員人件費(人)	常勤	0.50	0.00	0.20	0.00	0.35	0.00	0.35
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		6,710		2,920		6,080		13,067

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	不明	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
48 /60	本調査で得たデータ結果の空間分析を視覚的に把握することは、事業実施等各種まちづくりの施策の各過程において有効であるため、今後、地理情報システムを活用してデータの可視化を図っていくことで、府内関係部局においても基礎的な調査に係るコスト削減につなげていきたい。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	都市計画審議会経費				担当	都市計画部 都市計画課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	242-6333	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 44 年度	～	年度								
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-① 計画的な土地利用の推進										
根拠法令等	都市計画法、川口市都市計画審議会条例										

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営					
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)							事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
1.都市計画法に基づき市が定めようとする都市計画案の調査審議 2.市長の諮問に応じて都市計画に関する事項の調査審議 3.都市計画に関する事項についての関係行政機関への建議							学識経験者や利害関係人等の多様な意見を反映し、行政判断の正当性を高めるもの。		
①アクション(当該年度に何を実施したか)							②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
川口駅再整備基本計画案についての報告、生産緑地地区の変更についての諮問、第一種市街地再開発事業の変更についての諮問、高度利用地区の変更についての諮問、地区計画の変更についての諮問、都市計画道路の変更についての報告、川口駅の再整備及び周辺施設への影響等についての報告							第157回 令和6年7月25日 第158回 令和6年11月14日 第159回 令和7年2月4日		
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)							①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
諮問事項については原案どおり答申がなされた。 報告事項については質疑が行われた。							各諮問事項については行政判断の正当性が高められ、報告事項については様々な意見を承れたことで議論が深まったと考える。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位									
	目標値				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
実績値・達成状況										
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標値									
実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		8 款	4 項	1 目	4 細目	1 細々目	都市計画審議会経費			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)			443		443		444		444		
決算額(B)=(C)+(D)			396		273		266		333		
財源※	特定財源(C)		0		0		0		0		
	一般財源(D)		396		273		266		444		
概算人件費(E)			2,695		2,765		2,835		2,905		
従事職員人件費(人) 常勤 再任用			0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35		
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			3,091		3,038		3,101		3,349		
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。											

5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価			
必要性	現在の市民のニーズ		高かった		15 /15	有効性	期待どおりの成果		13 /15			
	市閥与の必要性		高かった				施策(上位目的)への貢献					
	将来的な市民のニーズ		見込める				目的に対する事業内容					
効率性	コストに対する成果		高かった		13 /15	公平性	受益者の資格条件		15 /15			
	業務プロセス改善		検討した				受益者負担の水準					
	民間活用		活用の余地なし				対象者への周知					

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など					今後の実施方向性		
56 /60	都市計画審議会は、学識経験者、市議会議員、市民で構成され、様々な分野の意見を川口の都市計画に反映することができる大切な機会である。案件の内容が多岐にわたり専門用語なども多いため、十分な理解が得られるよう、分かりやすい資料の作成や説明が必要である。					翌年度	現状維持で実施	翌々年度

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	川口駅東口公共広場管理事業				担当	都市整備部 都市整備管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-280-1219	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度	～	年度								
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-① 計画的な土地利用の推進										
根拠法令等	川口駅東口公共広場設置及び管理条例、川口駅東口公共広場管理規則、川口駅東口公共広場貸出取扱要綱										

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	一部委託					
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)									
	市民に憩いと集いの場を提供することにより、市民相互の交流及び中心市街地の活性化を図ることを目的とする。再開発事業により整備され、待ち合わせからイベント開催まで、幅広く利用されている。									
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)									
	・広場の適切な維持管理 ・イベントスペースの貸出 ・イベント企画内容の審査 ・イベントの開催指導									
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)									
	・広場内清掃 毎日 ・広場の修繕 10か所 ・イベントスペース利用率(日単位) 21%(前年度比 1%減) ・イベントスペース利用時間 591時間(前年度比 約5%増)									
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)									
	・安全に安心して利用できる広場の提供 ・まちの活気づくりへの貢献									
	・物価上昇や施設の老朽化により維持管理費用が増加。 ・イベントスペース使用料について、相応な受益者負担による料金設定を実施し、財源を確保する必要有。 ・広場の今後の在り方については、川口駅周辺在り方検討委員会において、今後検討が進む見込み。									

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	イベントスペース利用率(日単位)		指標・目標値の説明(算定式)	利用日／年間日数(利用不可能日を除く)			
	単位	%	指標の種別		成果			
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況	20.00	—	22.00	—	21.00	—	—
指標②	名称							
	単位	指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)				
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	8 款	4 項	6 目	2 細目	1 細々目	川口駅東口公共広場管理事業
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			6,410	7,060	8,988	9,943	10,744		
決算額(B)=(C)+(D)			5,460	6,167	8,171				
財源※ 特定財源(C)			5,188	5,587	6,512	5,833			
一般財源(D)			272	580	1,659	4,110			
概算人件費(E)			5,390	6,320	8,748	13,280	13,280		
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.80	0.00	1.08	0.00	1.60
総事業費[(A)又は(B)+(E)]	10,850			12,487	16,919	23,223	24,024		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市閥との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
48 /60	市民が安全に、安心して利用できるよう、広場の適切な維持管理を継続する。令和7年度にイベントスペースの使用料の見直しを実施し、相応な受益者負担による料金設定を行い財源の確保に努める。イベントスペースの利用率向上に向けた、広報活動を推進する。	翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	川口本町4丁目9番地区第一種市街地再開発事業				担当	都市整備部 再開発課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-280-1224	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 3 年度	～	令和 8 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	都市再開発法、社会資本整備総合交付金交付要綱、埼玉県市街地再開発促進事業費補助金交付要綱、川口市市街地再開発事業費補助金交付要綱			

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち義務的なもの			実施形態	一部補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)					事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
	地区内には、6棟の未接道宅地を含む老朽木造住宅、旧耐震共同住宅などが密集しており、防災上危険な地区であるため、建物の共同化を推進しオープンスペースを確保及び不燃化・耐震化による防災性の向上を図るもの。					都市再開発法に基づく第一種市街地再開発事業を実施し、道路等の基盤整備、公益施設と共同住宅の複合施設を建設することで、まちなみ居住を推進するもの。
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・市街地再開発事業に係る事業計画の変更 ・市街地再開発事業に係る都市計画の変更 ・施設建築物の工事、工事監理に係る補助金等交付手続き業務並びに組合への指導、監督、助言等を行った。			令和6年9月24日 事業計画(変更)認可 令和7年2月28日 都市計画(変更)決定 市街地再開発事業を施行する組合に対し補助金及び負担金を交付 交付額 1,246,922千円		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	施設建築物工事の工程計画実現			令和6年度は国・県からの交付金・補助金が予算額に達しなかったため指標の目標を達成することができなかったが、組合への指導、監督、助言等を行い、大きな問題もなく施設建築物工事は順調に進んでおり、適切な事業進捗が図られた。 施設建築物工事進捗率 20.51% (累計28.71%)		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	事業進捗状況		指標・目標値の説明(算定式)	各年度までの補助事業費／全体補助事業費				
	単位	%	指標の種別		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	25.50			33.99		67.38	98.85	100.00
	実績値・達成状況	4.26	未達成		36.44	達成	61.89	未達成	
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	6 細目	1 細々目	川口本町4丁目9番地区第一種市街地再開発事業			
年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)	790,820		2,028,128		1,513,122		1,808,500		91,340		
決算額(B)=(C)+(D)	0		1,645,702		1,246,922						
財源※	特定財源(C)		0		1,589,342		1,215,742		1,710,008		
	一般財源(D)		0		56,360		31,180		98,492		
	概算人件費(E)		12,320		11,455		12,312		12,201		
	従事職員人數(人)	常勤	再任用	1.60	0.00	1.45	0.00	1.52	0.00	1.47	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]	12,320		1,657,157		1,259,234		1,820,701		103,541		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
	現在の市民のニーズ	高かった				期待どおりの成果	期待どおり		
必要性	市閲与の必要性	高かった	15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13	15	15
	将来的な市民のニーズ	見込める			施策(上位目的)への貢献	高かった			
効率性	コストに対する成果	高かった	15	公平性	目的に対する事業内容	適正	13	15	15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者の資格条件	適正			
	民間活用	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正			
					対象者への周知	行つた			

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性		
56 /60	令和6年度は国・県からの交付金・補助金が予算額に達しなかったため指標の目標を達成することができなかったが、組合負担の増額や工程の見直しにより適切な事業進捗が図られた。令和8年度の事業完了に向けて、組合に対して行政手続きのサポートや適切な助言を行うとともに、関係部局との連携を強化し、事業の円滑な進捗を図る。				翌年度	拡充して実施	
					翌々年度	縮小して実施	

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	市街地総合事業協議会支援事業				担当	都市整備部 再開発課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-280-1220	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 2 年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	市街地総合事業協議会補助金交付要綱						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
川口駅周辺地区住宅市街地総合整備事業への理解・協力をもって住み良いまちづくりの実現に努めることを目的とし、行政と地元の中間的な役割を担う市街地総合事業協議会が行う活動の事業運営等に支援を行うもの。			川口駅周辺地区における、快適な居住空間の創出及び都市機能の更新等を進めるにあたり、市街地総合事業協議会の活動における事業運営費等に支援を行うことで、地域住民のまちづくりに対する意識向上を図るもの。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
・市街地総合事業協議会に対し補助金を交付、及び事業運営を支援。 ・総会開催 ・先進都市研究観察 ・まちづくり勉強会開催 ・会報発行			協議会の活動内容 6月26日 総会の開催(川口駅前市民ホールフレンディア) 11月22日 先進都市研究観察(渋谷区) 2月19日 まちづくり勉強会の開催(川口駅前市民ホールフレンディア) 3月13日 会報の発行
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
市街地総合事業協議会の活動が行われたことにより、地域住民の住宅市街地整備事業の必要性への理解度の向上を図ることができた。			市街地総合事業協議会の活動について、当初の計画通り進められた。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	視察研修開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	川口駅周辺のまちづくりの参考となる、先進的な都市を対象とする視察研修の開催回数。				
	単位	回	指標の種別	活動		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値					1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	実績値・達成状況	1.00	達成	1.00	達成	1.00	達成			
指標②	名称	勉強会開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	川口駅周辺のまちづくりの参考となる、画期的な都市政策や手法等を題材とした勉強会の開催回数。				
	単位	回	指標の種別	活動		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値					1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	実績値・達成状況	1.00	達成	1.00	達成	1.00	達成			

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	8 款	4 項	8 目	10 細目	1 細々目	市街地総合事業協議会支援事業
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			200	200	200	135	200		
決算額(B)=(C)+(D)			200	200	200				
財源※			特定財源(C)	0	0	0	0		
			一般財源(D)	200	200	200	135		
概算人件費(E)			3,850	3,950	4,050	4,150	4,150		
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50 0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			4,050	4,150	4,250	4,285	4,350		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	地域住民に川口駅周辺地区のまちづくりに対する更なる意識向上のため、市街地総合事業協議会の活動における事業運営費等について、支援を行う必要がある。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	桜町地区住宅市街地総合整備事業				担当	都市整備部 再開発課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-280-1220	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 4 年度	～	令和 13 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱(国土交通省事務次官通知)			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの			実施形態	一部委託		
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)				事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	地区内にある密集住宅市街地において、公共施設の整備や木造老朽住宅の建替更新を促進し、防災性の向上や住環境の改善を図るため、住宅市街地の再生・整備を総合的に行うこととするもの。				老朽木造住宅の建替を促進することで密集住宅市街地を解消し、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要区画道路沿道の用地取得 主要区画道路の沿道権利者等を対象に意向調査を実施 まちづくり協議会から提出された地区計画の提案書を基に、都市計画変更原案を作成し、原案説明会を実施 				②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	<ul style="list-style-type: none"> 主要区画道路沿道の用地取得 主要区画道路の沿道権利者等を対象に意向調査を実施 129件 地区住民を中心に組織されたまちづくり協議会開催 2回 まちづくりニュースの発行 2回 原案説明会の参加者数 43名 				<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区住民の事業に対する理解度の向上 公共施設用地の確保 		
	<ul style="list-style-type: none"> 地区住民の事業に対する理解度の向上 地区内の防災性向上や住環境の改善を図るため、地区計画の策定や準防火地域の指定に向け、都市計画変更の手続きを滞りなく進める。 継続的に主要区画道路の沿道権利者等の意向調査を実施し、また、優先整備路線の用地測量業務を完了したことで公共施設用地の取得を開始した。 道路用地取得進捗率2.17%・公園用地取得進捗率2.76% 				<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p>		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	まちづくり協議会開催			指標・目標値の説明(算定式)	まちづくりの進め方等について意見交換等を行う協議会の開催回数を示したもの。		
	単位	回	指標の種別	活動		令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	令和4年度				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		3.00			2.00	3.00		2.00
指標②	実績値・達成状況	4.00	達成	4.00	達成	2.00	達成	
	名称	まちづくりニュースの発行			指標・目標値の説明(算定式)	まちづくりの進め方等について意見交換等を行う協議会の活動報告を示したもの。		
目標値	単位	回	指標の種別	活動		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	令和4年度				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②		3.00			2.00	3.00		2.00
	実績値・達成状況	3.00	達成	4.00	達成	2.00	達成	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	10 細目	3 細々目	桜町地区住宅市街地総合整備事業																																			
年度	令和4年度		令和5年度			令和6年度		令和7年度		令和8年度																																	
予算額(A)	25,299		40,943			79,134		64,888		22,303																																	
決算額(B)=(C)+(D)	21,202		10,785			74,491																																					
財源※	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">特定財源(C)</td> <td>10,100</td> <td>4,950</td> <td>43,986</td> <td>51,700</td> </tr> <tr> <td>一般財源(D)</td> <td>11,102</td> <td>5,835</td> <td>30,505</td> <td>13,188</td> </tr> <tr> <td>概算人件費(E)</td> <td>18,480</td> <td>22,120</td> <td>22,680</td> <td>25,315</td> </tr> <tr> <td>従事職員人件数(人)</td> <td>常勤</td> <td>0.00</td> <td>2.80</td> <td>3.05</td> </tr> <tr> <td>従事職員人件数(人)</td> <td>常勤</td> <td>0.00</td> <td>2.80</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>従事職員人件数(人)</td> <td>常勤</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>3.05</td> </tr> <tr> <td>従事職員人件数(人)</td> <td>常勤</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> </table>								特定財源(C)	10,100	4,950	43,986	51,700	一般財源(D)	11,102	5,835	30,505	13,188	概算人件費(E)	18,480	22,120	22,680	25,315	従事職員人件数(人)	常勤	0.00	2.80	3.05	従事職員人件数(人)	常勤	0.00	2.80	0.00	従事職員人件数(人)	常勤	0.00	0.00	3.05	従事職員人件数(人)	常勤	0.00	0.00	0.00
特定財源(C)	10,100	4,950	43,986	51,700																																							
一般財源(D)	11,102	5,835	30,505	13,188																																							
概算人件費(E)	18,480	22,120	22,680	25,315																																							
従事職員人件数(人)	常勤	0.00	2.80	3.05																																							
従事職員人件数(人)	常勤	0.00	2.80	0.00																																							
従事職員人件数(人)	常勤	0.00	0.00	3.05																																							
従事職員人件数(人)	常勤	0.00	0.00	0.00																																							
総事業費[(A)又は(B)+(E)]	39,682		32,905			97,171		90,203		47,618																																	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果		期待どおり	
	市閥与の必要性		高かった			施策(上位目的)への貢献		高かった	
	将来的な市民のニーズ		見込める			目的に対する事業内容		適正	
効率性	コストに対する成果		どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件		適正	
	業務プロセス改善		検討した			受益者負担の水準		適正	
	民間活用		行った・既に行った			対象者への周知		十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など					今後の実施方向性			
54 /60	令和6年度までは、まちづくりの進め方等について意見交換などを行うため、協議会を年に概ね3回以上開催した。令和8年度に地区計画の策定や準防火地域の指定について目途が立つたため、今後は、年に2回程度の協議会を開催するなど、まちづくり推進業務委託を効率化して事業を実施することを検討する。					翌年度		現状維持で実施	
						翌々年度		効率化して実施	

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	芝中央沿道第1土地区画整理事業				担当	都市整備部 市街地整備室
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-271-9262	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度	～	令和 15 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	土地区画整理法			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	芝中央沿道第1地区内の権利者(大字芝の一部)に対して、土地区画整理事業を実施し都市計画道路(蕨芝線、芝神根線)とその沿道の市街地整備を行う。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	・減価補償地区として、公共施設に充当するための用地買収 ・都市計画道路の整備		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	用地買収 5件 ・道路整備 幅員16m、延長9m		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	・用地買収により、空地が確保できたことで防災性が向上 ・道路整備により、地区内の住環境改善に貢献		
	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・事業進捗率が31.4%となった。 ・仮換地指定に対しての理解を得る必要がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	用地買収件数			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に用地買収を行った件数				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		1.00		5.00		5.00		1.00		0.00
指標②	名称									
	単位			指標の種別		指標・目標値の説明(算定式)				
	目標値	令和4年度		令和5年度			令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況	0.00	未達成	3.00	未達成		5.00	達成		

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	7 目	1 細目	1 細々目	芝中央沿道第1土地区画整理事業			
年度		令和4年度	令和5年度			令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		73,533	188,240			152,574		101,691		253,640	
決算額(B)=(C)+(D)		29,061	104,322			141,985					
財源※	特定財源(C)	21,290	93,817			113,730		27,171			
	一般財源(D)	7,771	10,505			28,255		74,520			
概算人件費(E)		18,865	19,355			19,845		20,335		20,335	
従事職員人件費(人)	常勤	2.45	0.00	2.45	0.00	2.45	0.00	2.45	0.00	2.45	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		47,926	123,677			161,830		122,026		273,975	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
56 /60	令和6年度末の進捗率は31.4%であることから、令和7年度で減価補償地区として必要とする用地買収を完了し、その後、権利者に対して仮換地指定や移転補償交渉を丁寧に行い、計画通りの事業進捗を図りながら令和15年度の事業完了を目指す。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	芝中央沿道土地区画整理事業				担当	都市整備部 市街地整備室
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-271-9262	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度	～	令和 6 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	土地区画整理法			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	都市計画道路(蕨芝線、芝神根線)とその沿道の市街地整備について、沿道整備計画の方針に基づき事業化を目指す。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議会において、土地区画整理法に定められた縦覧に供する事業計画(案)の内容説明 事業計画(案)の縦覧 公共施設に充当するための用地買収 		
	<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿道まちづくり協議会 1回開催(27名参加) 事業計画(案)縦覧 26名 用地買収 4件 		
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議会及び縦覧により、地域住民の事業に対する理解度の向上 用地買収により公共施設用地の確保 		
	<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年3月3日に芝中央沿道第2土地区画整理事業として事業決定し、都市計画道路(蕨芝線、芝神根線)とその沿道の市街地整備を進めていくことの周知が図れた。 		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	沿道まちづくり協議会・運営委員会		指標・目標値の説明(算定式)	事業化区域の確定に向けた地元検討組織の会議支援回数					
	単位	回	指標の種別		結果					
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		1.00			1.00		1.00	—	—	
	実績値・達成状況	1.00	達成		1.00	達成	1.00	達成		
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位				指標の種別					
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		8 款	4 項	7 目	1 細目	2 細々目	芝中央沿道土地区画整理事業		
年度	令和4年度		令和5年度			令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)	79,842		38,287			203,401		0		0
決算額(B)=(C)+(D)	67,903		36,962			144,344				
財源※	特定財源(C) 一般財源(D)		49,590 18,313			23,840 13,122		129,029 15,315		0 0
概算人件費(E)	3,080		3,160			3,240		0		0
従事職員人件数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00
総事業費【(A)又は(B)+(E)】	70,983		40,122			147,584		0		0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果		期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性		高かった			施策(上位目的)への貢献		高かった	
	将来的な市民のニーズ		見込める			目的に対する事業内容		適正	
効率性	コストに対する成果		高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件		適正	15 /15
	業務プロセス改善		行った・既に行つた			受益者負担の水準		適正	
	民間活用		行った・既に行つた			対象者への周知		十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など					今後の実施方向性		
58 /60	令和7年度から新規事業「芝中央沿道第2土地区画整理事業」として、芝中央沿道第1土地区画整理事業と連鎖的に事業を推進し、都市計画道路(蕨芝線、芝神根線)とその沿道の市街地整備を行うことで、地区内の密集市街地の解消と不燃化を促進し、防災性の向上及び住環境の改善を図る。					翌年度	完了	

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	芝地区住宅市街地総合整備事業				担当	都市整備部 市街地整備室
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-271-9262	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度	～	令和 8 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱(国土交通省事務次官通知)			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託									
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)				事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)								
	地区内にある密集市街地を住宅市街地総合整備事業(密集住宅市街地整備型)により改善し、地区的防災性・安全性を確保する。			老朽木造住宅の建替を促進することで密集住宅市街地を解消し、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。									
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)									
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の開催 ・まちづくりニュースの発行 ・道路・公園整備に伴う用地取得 ・主要区画道路の整備 			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">まちづくり協議会開催</td><td style="width: 50%;">7回</td></tr> <tr> <td>・まちづくりニュース発行</td><td>4回</td></tr> <tr> <td>・用地買収面積</td><td>594. 8m²</td></tr> <tr> <td>・主要区画道路の整備</td><td>274. 9m</td></tr> </table>		まちづくり協議会開催	7回	・まちづくりニュース発行	4回	・用地買収面積	594. 8m ²	・主要区画道路の整備	274. 9m
まちづくり協議会開催	7回												
・まちづくりニュース発行	4回												
・用地買収面積	594. 8m ²												
・主要区画道路の整備	274. 9m												
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題									
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の事業に対する理解度の向上 ・公共施設用地の確保及び整備 			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・用地取得率74.90%</td><td style="width: 50%;">・地権者の高齢化等により、交渉において対応が難しい事象が増えている。</td></tr> </table>		・用地取得率74.90%	・地権者の高齢化等により、交渉において対応が難しい事象が増えている。						
・用地取得率74.90%	・地権者の高齢化等により、交渉において対応が難しい事象が増えている。												

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	公共施設整備による用地取得の進捗率		指標・目標値の説明(算定式)	都市計画道路を除いた最優先整備路線及び優先整備路線の総取得予定面積(m ²)に対する、過年度の用地取得面積に当該年度当初予算時の用地取得予定面積を加えた面積(m ²)の割合		
	単位	%	指標の種別		結果		
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
指標②		67.30			70.20	73.60	0.00
	実績値・達成状況	67.00	未達成		70.10	未達成	74.90
	名称						
指標②	単位		指標の種別				
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績値・達成状況						

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	10 細目	2 細々目	芝地区住宅市街地総合整備事業		
年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
予算額(A)	342,020			357,173			928,680			
決算額(B)=(C)+(D)	272,484			299,545			663,639			
財源※	特定財源(C)			227,445			601,655			
	一般財源(D)			45,039			61,984			
	概算人件費(E)			34,111			35,883			
従事職員人件数(人)	常勤	再任用	4.43	0.00	4.43	0.00	4.43	0.00		
総事業費[(A)又は(B)+(E)]	306,595			334,542			699,522			
							779,455			
							306,153			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価	
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15	効率性	公平性	
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった				
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正				
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15		受益者の資格条件	適正	15 /15	公平性	公平性	
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正				
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	十分行つた				

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など					今後の実施方向性		
58 /60	令和6年度末の主要区画道路の事業進捗率は74.9%であることから、今後は事業を縮小しながら用地取得へ向けた権利者との調整を続ける。また、取得した用地を道路等に的確に整備ができるよう、事業の周知を図り権利者の協力を求める。					翌年度	縮小して実施	

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	芝中央地区住宅市街地総合整備事業				担当	都市整備部 市街地整備室
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-271-9262	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度	～	令和 8 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱(国土交通省事務次官通知)			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	芝中央地区の権利者に対して、芝中央地区住宅市街地総合整備事業を実施する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)
	・老朽建築物除却のための物件補償 ・まちづくりニュースの発行		・物件補償 2棟 ・まちづくりニュース発行 1回
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
	・老朽建築物除却による防災性及び安全性の向上 ・地区内権利者の事業に対する理解度の向上		地区内で同時に施行している土地区画整理事業の進捗率の向上に寄与した。(芝中央沿道第1土地区画整理事業:事業進捗率31.4%)

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	老朽建築物の除却		指標・目標値の説明(算定式)	住宅市街地総合整備事業による老朽建築物の除却棟数		
	単位	棟	指標の種別		結果		
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
		1.00		3.00	1.00	4.00	4.00
指標②	実績値・達成状況	1.00	達成	3.00	達成	2.00	達成
	名称						
	単位	指標の種別					
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績値・達成状況						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	8 目	10 細目	5 細々目	芝中央地区住宅市街地総合整備事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		24,948	119,382	45,375	244,895	173,490		
決算額(B)=(C)+(D)		17,473	84,149	35,650				
財源※		特定財源(C)	16,090	75,330	31,280	174,910		
		一般財源(D)	1,383	8,819	4,370	69,985		
概算人件費(E)		7,700	7,900	8,100	8,300	8,300		
従事職員人件費(人)		常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		25,173	92,049	43,750	253,195	181,790		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	拡充して実施
56 /60	同時に施行している芝中央沿道第1土地区画整理事業の令和6年度末の進捗率は31.4%であることから、今後は事業がめざす姿を達成するために、土地区画整理事業の進捗に合わせて権利者との調整を進める。	翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	新井宿駅北側及び戸塚安行駅南側地区区画整理事業				担当	都市整備部 区画整理課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-280-1207	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和元年度	～	令和9年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	構造改革特別区域法・土地区画整理法・都市計画法			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
当該年度の実施内容及び成果	本地区は市街化調整区域内に位置し、農業中心の土地利用を想定しているが、後継者不足等を背景とした農地の減少や無秩序な土地利用の転換が懸念されており、新たな土地利用を可能とするまちづくりが求められている。		
	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	・権利者に対する土地区画整理事業等に関する説明会を両地区各1回開催(同様の内容で平日と休日の延べ10回開催) ・権利者に対する意向調査を両地区各1回実施 ・地区界測量を実施		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	新井宿駅北側地区(対象者125人) 説明会参加人数 計53人 意向調査返信数 72通 戸塚安行駅南側地区(対象者297人) 説明会参加人数 計95人 意向調査返信数 167通 ・地区界測量(新井宿駅北側地区20.8ha 戸塚安行駅南側地区23.8ha)		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	・事業方針や事業内容を、権利者へ周知及び情報の共有。 ・事業に対する意見や意向を把握し、計画の修正。 ・事業認可取得へ前進。		
	現在、両地区では、事業化にかかる各種調査及び測量等を行っており、並行して、権利者との合意形成を図りながら事業認可に向けて計画通り準備を進めている。 令和9年度の認可申請を目指し、より詳細な検討業務の実施や権利者対応等が必要となることから、今後、増加が見込まれる事業量への対応が課題となっている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	新井宿駅北側地区の土地区画整理事業等に関する説明会		指標・目標値の説明(算定式)	新井宿駅北側地区の土地区画整理事業等に関する説明会実施回数					
	単位	回	指標の種別		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標値	2.00			1.00		1.00	1.00	1.00	1.00
	実績値・達成状況	1.00	未達成		1.00	達成	1.00	達成		
指標②	名称	戸塚安行駅南側地区の土地区画整理事業等に関する説明会					指標・目標値の説明(算定式)	戸塚安行駅南側地区の土地区画整理事業等に関する説明会実施回数		
	単位	回	指標の種別	活動	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	2.00			1.00			1.00	1.00	1.00
	実績値・達成状況	1.00	未達成		1.00	達成		1.00		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8款	4項	7目	1細目	3細々目	新井宿駅北側及び戸塚安行駅南側地区区画整理事業		
年度		令和4年度			令和5年度			令和6年度		
予算額(A)		72,800			46,169			49,494		
決算額(B)=(C)+(D)		71,026			26,719			49,275		
財源※	特定財源(C)	22,000			8,427			15,673		
	一般財源(D)	49,026			18,292			33,602		
概算人件費(E)		18,480			20,540			21,060		
従事職員人件費(人)	常勤	2.40	0.00	2.60	0.00	2.60	0.00	2.60	0.00	2.60
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		89,506			47,259			70,335		
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。										

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
54 /60	引き続き、事業認可にかかる検討業務及び権利者との合意形成業務を行うとともに、事業量の増加に伴う事業費及び人員の確保については、関係部局と調整を図る。	翌年度
		現状維持で実施
		翌々年度
		拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	組合区画整理推進事業費				担当	都市整備部 区画整理組合推進室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-294-2774	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 62 年度	～	令和 18 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	土地区画整理法、川口市社会資本整備総合計画、埼玉県社会資本整備総合計画			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	補助金・負担金
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
川口市戸塚南部特定土地区画整理組合及び川口市戸塚東部特定土地区画整理組合に対して、補助金の交付や技術的支援を行い、土地区画整理事業の完了を目指し、都市基盤の整備を図る。			土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
川口市戸塚南部特定土地区画整理組合及び川口市戸塚東部特定土地区画整理組合に対して、補助金交付等や技術支援。			各組合の技術支援 川口市戸塚南部特定土地区画整理組合: 清算金等徴収交付委託など。 川口市戸塚東部特定土地区画整理組合: ・街路整備工事 62m ・移転物件補償 2棟ほか
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
・川口市戸塚南部特定土地区画整理組合の清算金等徴収交付業務の実施。 ・川口市戸塚東部特定土地区画整理組合の業務委託、街路築造工事、建物等物件補償などの実施。 事業全体進捗率の向上: 0.5% (累計86.3%) 地区内交通の利便性向上			・川口市戸塚南部特定土地区画整理組合については、事業完了に向け概ね計画どおりに進んでいる。 ・川口市戸塚東部特定土地区画整理組合については、調整池整備、移転補償や基盤整備を実施するため、国費を含む財源の確保などが課題となり、事業の長期化とならないような事業執行が求められる。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(組合区画整理推進事業費)		指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に建物移転を行った棟数。				
	単位	棟	指標の種別		結果	当初予算と実施計画を勘案して設定。			
目標値		令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		4.00		6.00		4.00	6.00	8.00	
実績値・達成状況		4.00		達成		2.00	未達成		
指標②	名称	街路築造工事延長(組合区画整理推進事業費)		指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に道路築造した工事延長。				
	単位	m	指標の種別		結果	当初予算と実施計画を勘案して設定。			
目標値		令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		78.00		154.31		334.00	301.00	325.00	
実績値・達成状況		88.00		達成		62.00	未達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口都市計画土地区画整理事業特別会計		1 款	1 項	3 目	1 細目	2 細々目	組合区画整理推進事業費
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		397,530		627,860		507,660		662,481	
決算額(B)=(C)+(D)		392,523		605,160		500,037		1,119,437	
財源※		特定財源(C)		48,524		251,570		60,729	
		一般財源(D)		343,999		353,590		439,308	
概算人件費(E)		123,200		126,400		129,600		132,800	
従事職員人件費(人)		常勤	再任用	16.00	0.00	16.00	0.00	16.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		515,723		731,560		629,637		795,281	
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。									

5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果		期待以下	7 /15
	市閥与の必要性		高かった			施策(上位目的)への貢献		低かった	
	将来的な市民のニーズ		見込める			目的に対する事業内容		適正	
効率性	コストに対する成果		高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件		適正	13 /15
	業務プロセス改善		検討した			受益者負担の水準		適正	
	民間活用		行った・既に行った			対象者への周知		行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など					今後の実施方向性		
48 /60	川口市戸塚南部特定土地区画整理組合には、清算金収納率が96.6%となり組合解散に向けた残事業に伴う技術支援をする。川口市戸塚東部特定土地区画整理組合には、事業終盤に向けて計画等を十分精査しながら、丁寧な地権者交渉を行い、確実な事業執行を図れるため、事業資金の安定的な確保が行えるよう技術支援をする。					翌年度 拡充して実施		
						翌々年度 拡充して実施		

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	芝東第3地区住宅市街地総合整備事業				担当	都市整備部 西部土地区画整理事務所
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和元年度	～	令和20年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱(国土交通省事務次官通知)			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	芝東第3土地区画整理事業地区内において、移転が遅れている老朽住宅密集地の権利者の早期の生活再建と防災性の向上、住環境の改善を図るために住宅市街地総合整備事業の合併施行により土地区画整理事業の進捗を図る。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業推進のため、移転物件補償の実施。 ・土地区画整理事業推進のため、移転物件調査の実施。 		
	<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽建築物除却補償 1棟 ・物件調査委託 1件 		
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>芝東第3土地区画整理事業全体進捗率の向上:1.4%(累計48.7%)</p>		
	<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <p>令和6年度末の進捗率は48.7%である。移転待機状態による事業長期化の解消、老朽住宅密集地の改善が課題である。</p>		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	老朽建築物除却棟数(芝東第3)		指標・目標値の説明(算定式)	建物除却を行った棟数		
	単位	棟	指標の種別		当初予算の計画数を目標値として設定		
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	
		1.00		1.00	1.00	4.00	
	実績値・達成状況	1.00	達成	1.00	達成		
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)			
	単位						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	
	実績値・達成状況						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	8 目	10 細目	6 細々目	芝東第3地区住宅市街地総合整備事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		31,231		19,579		28,500		36,500
決算額(B)=(C)+(D)		28,542		18,108		27,626		22,000
財源※		特定財源(C)	19,000	11,263	21,423	30,400		
		一般財源(D)	9,542	6,845	6,203	6,100		
概算人件費(E)		11,550		11,850	12,150	12,450		12,450
従事職員人件数(人)		常勤	再任用	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		40,092		29,958		39,776		48,950
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。								

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
54 /60	令和6年度末の進捗率は48.7%であることから、今後、早期に住宅密集地の防災性を向上させ住環境の改善を図るために、年間の建物除却数を増やす。	翌年度 拡充して実施 翌々年度 拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	芝東第4地区住宅市街地総合整備事業				担当	都市整備部 西部土地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和元年度	～	令和20年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱(国土交通省事務次官通知)			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)				事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
	芝東第4土地区画整理事業地区内において、移転が遅れている老朽住宅密集地の権利者の早期の生活再建と防災性の向上、住環境の改善を図るために住宅市街地総合整備事業の合併施行により土地区画整理事業の進捗を図る。				老朽木造住宅の建替を促進することで密集住宅市街地を解消し、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業推進のため、移転物件補償の実施。 ・土地区画整理事業推進のため、移転物件調査の実施。 				②アウトプット(①を実施した結果・実績)
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>芝東第4土地区画整理事業全体進捗率の向上:0.9%(累計68.5%)</p>				①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題 令和6年度末の進捗率は68.5%である。移転待機状態による事業長期化の解消、老朽住宅密集地の改善が課題である。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	老朽建築物除却棟数(芝東第4)		指標・目標値の説明(算定式)	建物除却を行った棟数 当初予算の計画数を目標値として設定	
	単位	棟	指標の種別			
目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	3.00		2.00	2.00	2.00	
実績値・達成状況	3.00	達成	2.00	達成	2.00	
5.00						
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位	指標の種別				
目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績値・達成状況						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	10 細目	7 細々目	芝東第4地区住宅市街地総合整備事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		65,543		42,760		45,448		42,268		92,263
決算額(B)=(C)+(D)		55,778		41,997		42,459				
財源※	特定財源(C)	43,420		33,718		37,393		35,100		
	一般財源(D)	12,358		8,279		5,066		7,168		
概算人件費(E)		11,550		11,850		12,150		12,450		12,450
従事職員人件費(人)	常勤	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		67,328		53,847		54,609		54,718		104,713

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	令和6年度末の進捗率は68.5%であることから、今後、早期に住宅密集地の防災性を向上させ住環境の改善を図るために、年間の建物除却数を増やす。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	芝東第3事業費				担当	都市整備部 西部土地地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 7 年度	～	令和 26 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	土地区画整理法			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	芝東第3土地区画整理事業地内の道路、公園等の都市基盤の整備により、良好な住環境を有する市街地の形成を図る。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・保留地処分の実施 ・移転物件調査の実施 ・街路整備工事、造成工事の実施 ・物件補償の実施 		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・保留地処分 6区画 162.8m² ・移転物件調査 4件 ・街路整備工事 321.3m ・建物補償 10棟 		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業全体進捗率の向上:1.4% ・地区内交通の利便性向上 		
	④⑤を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	事業の長期化、高台区域における埋蔵文化財の発掘調査に時間が要していること等が課題である。令和6年度末の進捗率は48.7%である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(芝東第3)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に建物移転を行った棟数		
	単位	棟	指標の種別	結果		当初予算と実施計画を勘案して設定		
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
指標②		7.00		8.00		11.00	12.00	12.00
	実績値・達成状況	3.00	未達成	7.00	未達成	10.00	達成	
	名称	街路築造工事延長(芝東第3)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に街路築造した工事延長		
	単位	m	指標の種別	結果		当初予算と実施計画を勘案して設定		
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
		165.00		642.00		233.00	565.00	356.00
	実績値・達成状況	265.90	達成	502.90	未達成	321.30	達成	

4 年度別事業費(単位:千円)

		予算費目	川口都市計画土地区画整理事業特別会計	2 款	2 項	1 目	1 細目	2 細々目	芝東第3事業費
		年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			424,622		393,424		494,685		661,088
決算額(B)=(C)+(D)			353,186		347,800		431,181		822,337
財源※		特定財源(C)	324,515		309,184		383,659		578,265
		一般財源(D)	28,671		38,616		47,522		82,823
		概算人件費(E)	42,350		43,450		42,525		48,700
従事職員人件数(人)		常勤	5.50	0.00	5.50	0.00	5.25	0.00	5.75
		再任用					0.25		0.25
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			395,536		391,250		473,706		709,788
									871,037

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閑与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	令和6年度末の進捗率は48.7%であることから、今後、作業ヤードの借り上げも視野に入れ、時間を要している埋蔵文化財の発掘調査の進捗を図るほか、住宅市街地総合整備事業との合併施行により、早期完了を目指す。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	芝東第4事業費				担当	都市整備部 西部土地地区画整理事務所
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	元 年度	～	令和	25 年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進				
根拠法令等	土地区画整理法				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	芝東第4土地区画整理事業地内の公共施設の整備を行い、合理的な土地利用を図ると共に、良好な住環境と景観を有する住宅地として整備を図る。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・保留地処分の実施 ・移転物件調査の実施 ・街路整備工事、造成工事の実施 ・物件補償の実施 		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・保留地処分 13区画 381.8m² ・移転物件調査 9件 ・街路整備工事 988.4m ・建物補償 9棟 		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業全体進捗率の向上:0.9% ・地区内交通の利便性向上 		
	要移転戸数の多くが玉突き移転となっているため、移転が思うように進まないことが課題である。令和6年度末の進捗率は68.5%である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(芝東第4)	指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に建物移転を行った棟数 当初予算と実施計画を勘案して設定
	単位	棟		
	目標値	令和4年度 7.00		令和6年度 11.00
指標②	実績値・達成状況	9.00 達成	指標・目標値の説明(算定式)	18.00 19.00
	名称	街路築造工事延長(芝東第4)		当該年度に街路築造した工事延長 当初予算と実施計画を勘案して設定
	単位	m		令和8年度 558.00
	目標値	令和4年度 275.00	指標・目標値の説明(算定式)	令和6年度 610.00
	実績値・達成状況	1,382.50 達成		令和7年度 580.00
		432.00 未達成		令和8年度 47,725
		988.40 達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市計画土地区画整理事業特別会計	2 款	3 項	1 目	1 細目	2 細々目	芝東第4事業費
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		789,304	698,942	625,304	795,510	860,160		
決算額(B)=(C)+(D)		650,757	587,263	536,599				
財源※	特定財源(C)	598,833	519,245	481,402	703,708			
	一般財源(D)	51,924	68,018	55,197	91,802			
概算人件費(E)		42,350	43,450	42,525	48,700	47,725		
従事職員人件数(人)	常勤 再任用	5.50 0.00	5.50 0.00	5.25 0.00	5.75 0.25	5.75 0.25		
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		693,107	630,713	579,124	844,210	907,885		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性				
56 /60	令和6年度末の進捗率は68.5%であることから、今後、集団移転や現道を活かした道路整備等により、事業進捗を図るとともに、住宅市街地総合整備事業との合併実施により、早期完了を目指す。	<table border="1"> <tr> <td>翌年度</td> <td>拡充して実施</td> </tr> <tr> <td>翌々年度</td> <td>拡充して実施</td> </tr> </table>	翌年度	拡充して実施	翌々年度	拡充して実施
翌年度	拡充して実施					
翌々年度	拡充して実施					

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	芝東第5事業費				担当	都市整備部 西部土地地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 54 年度	～	令和 15 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	土地区画整理法			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	芝東第5土地区画整理事業地内の公共施設の整備を行い、健全な住環境を有する市街地の形成を図る。			土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・移転物件調査の実施 ・土地評価委託の実施 ・公共事業引継書作成委託の実施			移転物件調査 2件 ・土地評価委託 1件 ・公共事業引継書作成委託 1件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	事業完了に必要な換地処分の実施。			事業完了に向けた事業費の確保、残事業の処理が課題である。令和6年度末の進捗率は99.3%である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償件数(芝東第5)		指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に移転を行った件数		
	単位	件	指標の種別		当初予算と実施計画を勘案して設定		
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
指標②		1.00		1.00	1.00	1.00	1.00
	実績値・達成状況	2.00	達成	1.00	達成	1.00	達成
	名称						
指標②	単位		指標の種別	指標・目標値の説明(算定式)			
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績値・達成状況						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口都市計画土地区画整理事業特別会計	2 款	4 項	1 目	1 細目	2 細々目	芝東第5事業費
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		106,261	134,778	133,103	85,182	105,366		
決算額(B)=(C)+(D)		78,087	109,982	107,194				
財源※		特定財源(C)	22,370	37,060	129	21,090		
		一般財源(D)	55,717	72,922	107,065	64,092		
概算人件費(E)		15,400	15,800	14,175	19,650	18,675		
従事職員人件数(人)		常勤	再任用	1.75	0.00	2.25	0.25	2.25
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		93,487	125,782	121,369	104,832	124,041		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	令和6年度末の進捗率は99.3%であることから、今後、残事業については、そのほとんどが難航箇所であるため、引き続き解決に向けて折衝を行う。	翌年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	芝東第6事業費				担当	都市整備部 西部土地地区画整理事務所
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 60 年度	～	令和 16 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	土地区画整理法			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	芝東第6土地区画整理事業地内の公共施設の整備を行い、健全な住環境を有する市街地の形成を図る。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	・移転物件調査の実施 ・土地評価委託の実施		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	換地処分の準備となる事業を主に実施した。 ・移転物件調査 3件 ・土地評価委託 1件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	事業完了に必要な換地処分の実施。		
	事業完了に向けた事業費の確保、残事業の処理が課題である。令和6年度末の進捗率は97.0%である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償件数(芝東第6)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に移転を行った件数				
	単位	件	指標の種別	結果		当初予算と実施計画を勘案して設定				
目標値	令和4年度		令和5年度		指標・目標値の説明(算定式)	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	1.00		1.00			1.00	1.00	1.00		1.00
指標②	実績値・達成状況		5.00	達成	指標・目標値の説明(算定式)	0.00	未達成	1.00	達成	
目標値	令和4年度		令和5年度		指標・目標値の説明(算定式)	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
実績値・達成状況										

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口都市計画土地区画整理事業特別会計	2 款	5 項	1 目	1 細目	2 細々目	芝東第6事業費		
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
予算額(A)		57,252	26,017	81,262	177,673	209,893				
決算額(B)=(C)+(D)		22,174	12,466	63,010						
財源※	特定財源(C)		21,662	3,320	29,302	101,642				
	一般財源(D)		512	9,146	33,708	76,031				
概算人件費(E)		15,400	15,800	14,175	19,650	18,675				
従事職員人件費(人)	常勤	2.00	0.00	2.00	0.00	1.75	0.00	2.25	0.25	2.25
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		37,574	28,266	77,185	197,323	228,568				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
54 /60	令和6年度末の進捗率は97.0%であることから、今後、残事業については、そのほとんどが難航箇所であるため、引き続き解決に向けて折衝を行う。	翌年度 拡充して実施 翌々年度 拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	新郷東部第2事業費				担当	都市整備部 東部土地地区画整理事務所
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-284-0100	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年度	～	令和 25 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	土地区画整理法			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	道路、公園等の公共施設を整備改善すると同時に、新郷多目的遊水地事業及び辰井川改修事業を行うことで浸水被害を無くし、事業地内の権利者の安全快適な居住環境の整備を図ることを目的とする。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	<ul style="list-style-type: none"> 仮換地指定 街路築造工事 造成工事 物件補償 		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	<ul style="list-style-type: none"> 仮換地指定: 5,596.8m² 街路築造工事: 88.9m 造成工事: 6225.9m² 物件補償: 23棟 		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> 事業全体進捗率の向上: 0.8% (24.4%から25.2%) 地区内交通の利便性が向上 		
	建物補償を23棟実施し、道路用地等の工事を実施したが、物価高騰による影響などを受け、一部計画通りに着手できなかった。治水対策として辰井川整備が急務であり、更なる整備の加速が求められているが、補償対象者が多く、また、物価高等の影響を受けていることから、限られた予算、人員を計画的に配置し、事業を執行する。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(新郷東部第2)	指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に建物移転を行った棟数				
	単位	棟		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	23.00		12.00		28.00	23.00	27.00
指標②	名称	街路築造工事延長(新郷東部第2)	指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に街路築造工事した工事延長				
	単位	m		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	1,370.00		1,700.00		1,370.00	745.00	800.00
	実績値・達成状況	1,524.10	達成	1,572.40	未達成	1,387.60	達成	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口都市計画土地区画整理事業特別会計	2 款	1 項	1 目	1 細目	2 細々目	新郷東部第2事業費
年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)	1,053,450		827,574		1,270,095		1,063,697
決算額(B)=(C)+(D)	853,139		508,002		1,001,174		1,495,952
財源※	特定財源(C)		788,887		462,968		838,486
	一般財源(D)		64,252		45,034		225,211
	概算人件費(E)		92,400		85,320		116,200
従事職員人件数(人)	常勤	再任用	12.00	0.00	10.80	0.00	13.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]	945,539		593,322		1,106,474		1,179,897
							1,612,152

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
56 /60	早期整備を行う必要があるが対象件数が多く、また地権者の高齢化等により協力が得られない状況も生まれている。令和6年度末の進捗率は25.2%であることから、今後においては事業をより推進するための方策として、仮換地計画の変更や民間事業者の活用による業務支援を受け、今後の事業期間短縮に向けて総合的に対応する。	翌年度 拡充して実施 翌々年度 拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	石神西立野特定事業費				担当	都市整備部 北部土地地区画整理事務所	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-295-1009	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 6 年度	～	令和 35 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	土地区画整理法			

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	埼玉高速鉄道戸塚安行駅へのアクセス道路の整備、並びに、今後住宅地の需要が高まることが予想されることから、土地区画整理事業により、都市機能(生活環境・利便性・防災性)の向上、改善を目的とする。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・仮換地指定 ・物件補償及び業務委託として物件補償調査 ・街路築造工事、造成工事 ・保留地処分 		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・街路整備工事717.1m ・換地に伴う物件補償として建物18棟 ・工作物補償等11件 		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業全体進捗率の向上:1.4% ・地区内交通の利便性向上 		
	国庫補助金の内示額が減少傾向にあるため、追加要望を行うなど特定財源の確保に努めたが、一部事業が実施できなかった。令和6年度末現在の進捗率は57.9%である。今後の課題は、事業費の確保および事業の長期化である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(石神西立野)	指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に物件補償を行った棟数
	単位	棟		当初予算と実施計画に基づき設定
	目標値	令和4年度		令和6年度
指標②		18.00		16.00
	実績値・達成状況	7.00	未達成	9.00
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標②		495.00	298.00	272.00
	実績値・達成状況	310.40	未達成	229.30
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		437.00		437.00

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口都市計画土地区画整理事業特別会計	2 款	6 項	1 目	1 細目	2 細々目	石神西立野特定事業費
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)	791,967	855,543	879,054	1,224,419	1,584,140		
決算額(B)=(C)+(D)	623,999	669,443	769,925				
財源※	特定財源(C)	553,530	520,942	654,332	1,052,650		
	一般財源(D)	70,469	148,501	115,593	171,769		
	概算人件費(E)	61,600	63,200	68,850	70,550	70,550	
従事職員人件数(人)	常勤	0.00	8.00	8.50	0.00	8.50	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		685,599	732,643	838,775	1,294,969	1,654,690	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	令和6年度末の進捗率は、57.9%である。今後事業費の確保については、保留地予定地の計画的な整備を進め、安定的な財源確保に努める。事業の長期化については、協力を得られていない一部地権者に対して、仮換地案に対する意見調整を進め、建物移転を円滑に行うことにより、街路築造工事等の進捗を図る。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	安行藤八特定事業費				担当	都市整備部 北部土地地区画整理事務所
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-295-1009	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 9 年度	～	令和 26 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	土地区画整理法			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	最寄り駅である戸塚安行駅へのアクセス道路の整備及び今後、住宅地の需要が高まることが予想されることから、安行藤八特定土地区画整理事業地内の権利者に対し良好な住宅地を供給するため都市基盤整備を目的とする。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか) ・仮換地指定 ・物件補償及び業務委託として物件補償調査 ・街路築造工事、造成工事 ・保留地処分		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績) 街路整備工事702.0m ・換地に伴う物件補償として建物20棟 ・工作物補償等18件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか) ・事業全体の進捗率の向上:1.5% ・地区内交通の利便性向上		
	国庫補助金の内示額が減少傾向にあるため、追加要望を行うなど特定財源の確保に努めたが、一部事業が実施できなかった。令和6年度末現在の進捗率は43.5%である。今後の課題は、事業費の確保と事業の長期化である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(安行藤八)			指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に物件補償を行った棟数 当初予算と実施計画に基づき設定
	単位	棟	指標の種別	結果		
目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度
	22.00		13.00		16.00	18.00
実績値・達成状況	9.00	未達成	10.00	未達成	20.00	達成
指標②	名称	街路築造工事延長(安行藤八)			指標・目標値の説明(算定式)	当初年度に物件補償を行った棟数 当初予算と実施計画に基づき設定
	単位	m	指標の種別	結果		
目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度
	578.00		396.00		337.00	774.40
実績値・達成状況	189.00	未達成	213.80	未達成	353.60	達成

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口都市計画土地区画整理事業特別会計	2 款	7 項	1 目	1 細目	2 細々目	安行藤八特定事業費
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		774,119	648,471	872,130	943,278	1,542,912		
決算額(B)=(C)+(D)		528,810	490,082	739,996				
財源※	特定財源(C)	474,291	424,699	664,637	826,850			
	一般財源(D)	54,519	65,383	75,359	116,428			
概算人件費(E)		61,600	63,200	68,850	87,150	87,150		
従事職員人件数(人)	常勤	8.00	0.00	8.50	0.00	10.50	0.00	10.50
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		590,410	553,282	808,846	1,030,428	1,630,062		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	拡充して実施
56 /60	令和6年度末の進捗率は43.5%である。今後事業費の確保については保留地予定地の計画的な整備を進め、安定的な財源確保に努める。事業の長期化については、協力を得られない一部地権者に対して、仮換地案に対する意見調整を進め、建物移転を円滑に行うことにより、街路築造工事等の進捗を図る。	翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	里地区住宅市街地総合整備事業			担当	都市整備部 里地区画整理事務所
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-286-2888	新規・継続 継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度	～	令和 13 年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進		
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱(国土交通省事務次官通知)		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景) 里地区画整理事業地区内において移転が遅れている老朽住宅密集地の権利者の早期の生活再建と防災性の向上、住環境の改善を図るために、住宅市街地総合整備事業の合併施行により、地区画整理事業の進捗を図る。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区画整理事業推進のため移転物件補償の実施。 ・地区画整理事業推進のため移転物件調査の実施。 <p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽建築物除却補償 13棟 次年度補償予定の物件調査委託 16件 <p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>里地区画整理事業全体進捗率の向上:1.2%(累計84.0%)</p>		
	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題 老朽建築物の除却を実施したことにより、住宅市街地総合整備事業及び合併施行である地区画整理事業の進捗が図られ、市街地整備の推進に寄与した。しかしながら、事業が長期化しており、一層の事業進捗を図るため、的確な計画の立案及び必要な財源と人員の確保に努める。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	老朽建築物除却棟数		指標・目標値の説明(算定式)	建物除却を行った棟数	
	単位	棟	指標の種別		結果	当初予算の計画数を目標値として設定
目標値		令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
		7.00		2.00	14.00	8.00
	実績値・達成状況	8.00	達成	2.00	達成	13.00 未達成
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)		
	単位				令和6年度	令和7年度
目標値		令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		8 款	4 項	8 目	10 細目	8 細々目	里地区住宅市街地総合整備事業		
年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
予算額(A)	172,705			90,201			360,001			
決算額(B)=(C)+(D)	150,941			72,230			332,874			
財源※	特定財源(C)			122,710			282,374			
	一般財源(D)			28,231			194,300			
	概算人件費(E)			23,100			50,500			
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	3.00	0.00	3.00	0.00	3.00	0.00		
総事業費[(A)又は(B)+(E)]	174,041			95,930			357,174			
							253,590			
							280,750			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
56 /60	効率性・期待どおりの成果判定において、目標値は未達成だが、概ね予定通り執行できたことから期待どおりと評価した。令和6年度末の進捗率は84.0%である。今後とも合併施行である地区画整理事業の進捗を図り、老朽建築物除却補償を計画的に実施し、老朽住宅密集地の防災性の向上及び住環境の改善を図っていく。	翌年度 拡充して実施 翌々年度 拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	里事業費			担当	都市整備部 里土地区画整理事務所
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-286-2888	新規・継続 継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	元 年度	～	令和	19 年度
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進				
根拠法令等	土地区画整理法				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
当該年度の実施内容及び成果	埼玉高速鉄道線鳩ヶ谷駅を拠点として公共施設等の整備改善を進めることにより、未整備のままスプロール化した地区的再編成を行い、健全で良好な市街地整備および権利者の住環境向上を図る。		
	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	土地利用の最適化とともに、道路や公園等の公共施設の整備や防災機能の強化、交通の円滑化などによる住環境の向上により、安全・安心に生活できる持続可能なまちづくりをめざす。		
	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	・土地区画整理事業推進のため街路整備工事を実施。 ・土地区画整理事業推進のため宅地造成工事を実施。 ・土地区画整理事業推進のため移転物件補償を実施。 ・土地区画整理事業推進のため委託業務を実施。		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	街路整備工事 802.1m ・宅地造成工事 7,312m ² ・移転物件補償 15棟ほか ・次年度工事、補償予定の道路実施設計、物件調査委託ほか		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	・事業全体進捗率の向上:1.2%(累計84.0%) ・地区内交通の利便性向上		
	街路整備工事や物件補償等を実施したことにより、土地区画整理事業の進捗が図られ、市街地整備の推進に寄与した。しかしながら、事業が長期化しており、一層の事業進捗を図るため、的確な計画の立案及び必要な財源と人員の確保に努める。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	物件補償棟数(里)	指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に物件補償を行った棟数		
	単位	棟		当初予算と実施計画を勘案して設定		
	目標値	令和4年度 19.00		令和5年度 15.00	令和6年度 17.00	令和7年度 18.00
指標②	名称	街路築造工事延長(里)	指標・目標値の説明(算定式)	当該年度に街路築造した工事延長		
	単位	m		当初予算と実施計画を勘案して設定		
	目標値	令和4年度 937.00		令和5年度 788.00	令和6年度 634.00	令和8年度 1,016.00
	実績値・達成状況	823.50	未達成	843.00	達成	802.10

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口都市計画土地区画整理事業特別会計	2 款	8 項	1 目	1 細目	2 細々目	里事業費
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)	907,436	769,775	815,477	857,822	1,759,654		
決算額(B)=(C)+(D)	692,386	607,680	684,075				
財源※	特定財源(C) 一般財源(D)	627,000 65,386	501,258 106,422	602,419 81,656	706,563 151,259		
	概算人件費(E)	61,600	63,200	64,800	66,400	74,700	
従事職員人數(人)	常勤 再任用	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	9.00 0.00	
総事業費[(A)又は(B)+(E)]	753,986	670,880	748,875	924,222	1,834,354		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
56 /60	効率性・期待どおりの成果判定において、移転物件補償棟数の目標値は未達成であったが、予算は概ね予定通り執行できたため期待どおりと評価した。令和6年度末の進捗率は84.0%である。今後ともボトルネックとなっている移転対象者の仮換地変更を積極的に行い、現道をいかすなどの事業計画変更を進め事業進捗を図る。	翌年度 拡充して実施 翌々年度 拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	開発審査事業			担当	都市計画部 開発審査課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5551	新規・継続 継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	V	誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進		
根拠法令等	都市計画法第29条、34条他			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	市民、土地所有者、不動産業者、建築業者の事業計画に対する、都市計画法に基づく乱開発の防止。 スプロール化の抑制		
	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
当該年度の実施内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 開発許可申請に関する許認可事務 市街化調整区域内における建築許可 申請に関する許認可事務 		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	<ul style="list-style-type: none"> 開発許可申請 56件 開発許可 59件 開発審査会の開催 4回 		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	開発に係る許認可事務等を行うことで、法令に基づく適切な開発となり、乱開発の防止、スプロール化の抑制につながった。		
	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	民間等の事業計画に対する審査事業であるため、永続的なものであり、進捗状況は不確定である。課題としては、専門性が極めて高く、法律、経済、公衆衛生、都市計画、建築の各分野に精通していることが求められ、職員及び委員の各々の力量の維持及び向上が必要となる。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)							
	単位	指標の種別									
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別									
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	1 目	8 細目	1 細々目	開発審査事業		
年度		令和4年度	令和5年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		788	2,693			1,209	927	1,061		
決算額(B)=(C)+(D)		464	2,221			808				
財源※	特定財源(C)	0	0			0	0	0		
	一般財源(D)	464	2,221			808	927			
概算人件費(E)		53,900	55,300			56,700	58,100	58,100		
従事職員人件費(人)	常勤	7.00	0.00	7.00	0.00	7.00	0.00	7.00	0.00	7.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		54,364	57,521			57,508	59,027	59,161		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 /60	開発審査会の委員については、専門性が極めて高く、法律、経済、公衆衛生、都市計画、建築の各分野に精通していることが求められる。職員及び委員の各々の力量の維持及び向上が課題となる為、計画的な人事異動及び人員配置が必要である。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	その他開発審査事業				担当	都市計画部 開発審査課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 33-5551	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和6年度	～	令和6年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	宅地造成及び特定盛土等規制法第4条第1項			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	全部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	盛土等に伴う災害の防止のための対策に必要な基礎調査として、本市に存在する既存盛土等の分布状況を把握し、応急対策の必要性の判断や安全性把握調査の優先度評価を行うことを目的とする。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 造成前後の差分解析による既存盛土の抽出 公道等からの現地確認による応急対策の必要性の判断 安全性把握調査の優先度評価 安全性把握調査及び経過観察の実施方法の提案 学識経験者との検討会 調査報告書及び公表用資料案の作成 		
	<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存盛土:20箇所 応急対策が必要となる盛土:0箇所 安全性把握調査の優先度評価の結果:A1(1箇所)、A2(5箇所)、A3(1箇所)、B2(5箇所)、C1(1箇所)、C2(5箇所) 学識経験者との検討会(実施日:令和7年3月24日) 		
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>本市に存在する既存盛土の分布状況、応急対策、安全性把握調査、経過観察が必要となる盛土を把握することができた。</p>		
	<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <p>本調査では昭和36年から令和3年の間に造成された既存盛土について調査を行った。当該調査はおおむね5年ごとに対象年代・対象規模を変更して調査を行うこととなっているため、災害防止のための基礎調査の適切な準備を行っていく。</p>		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8款	4項	1目	8細目	3細々目	その他開発審査事業	
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
予算額(A)	0	0	15,791	0	0			
決算額(B)=(C)+(D)	0	0	10,643					
財源※	特定財源(C)	0	0	5,321	0			
	一般財源(D)	0	0	5,322	0			
	概算人件費(E)	0	0	24,300	0			
従事職員人件数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			0	0	34,943	0	0	0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
54 /60	宅地造成及び特定盛土等規制法第4条第1項において、おおむね5年ごとに基礎調査を実施することが規定されているため、次回の調査については、令和11年度に実施する予定。	翌年度 休止 翌々年度 休止

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	西川口駅周辺地区まちづくり協議会支援事業				担当	都市整備部 再開発課	
事業区分	通常事業	~	問い合わせ先	048-280-1224	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度	~	令和 6 年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進			
根拠法令等	西川口駅周辺地区まちづくり協議会補助金交付要綱			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	平成23年度に策定した西川口駅周辺まちづくり基本構想の具体化を目指し、まちづくりの推進を図る西川口駅周辺まちづくり協議会が行う活動における事業運営費等に支援を行うもの。		
当該年度の実施内容及び成果	<p>①アクション(当該年度に何を実施したか)</p> <p>西川口駅周辺地区まちづくり協議会は活動を休止しているが、今後の活動について、会長から意見聴取を行った。</p>		
	<p>②アウトプット(①を実施した結果・実績)</p> <p>西川口駅周辺地区まちづくり協議会が活動を休止しているため、実績なし。</p>		
	<p>③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)</p> <p>西川口駅周辺地区まちづくり協議会が、活動を休止しているため、実績なし。</p>		
	<p>①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題</p> <p>西川口駅周辺地区まちづくり協議会では、規約に定められた役員数が満たされていないこと、また、平成23年度に策定した基本構想について、年数経過による当地域に求められるまちづくりの事柄が様変わりし、当協議会の在り方が不明確となっていることより、令和5年度から、活動を一時休止している。</p>		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	視察研修開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	西川口駅周辺の課題解決に資する視察研修の開催回数。			
	単位	回	指標の種別	活動					
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度	令和8年度		
		1.00	1.00	1.00		—	—	—	
指標②	名称	勉強会開催回数							
	単位	回	指標の種別	活動	指標・目標値の説明(算定式)	西川口駅周辺の課題解決に資する勉強会の開催回数。			
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
		1.00	1.00	1.00		—	—	—	
	実績値・達成状況	1.00	達成	0.00	未達成	0.00	未達成		

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	8 目	3 細目	2 細々目	西川口駅周辺地区まちづくり協議会支援事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		150	150	150	0	0	0	0
決算額(B)=(C)+(D)		65	0	0	0	0	0	0
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源(D)	65	0	0	0	0	0	0
概算人件費(E)		2,310	1,817	972	996	996		
従事職員人件費(人)	常勤	0.30	0.00	0.23	0.00	0.12	0.00	0.12
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		2,375	1,817	972	996	996		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	5 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	不明	
効率性	コストに対する成果	不明	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
38 /60	今後において、西川口駅周辺地区まちづくり協議会の活動が再開された際には、西川口駅周辺のまちづくりを推進するため、引き続き活動について支援を行う必要がある。	翌年度	休止

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	芝東第4事業選挙費				担当	都市整備部 西部土地地区画整理事務所	
事業区分	通常事業	−	問い合わせ先	048-266-6600	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 6 年度	～	令和 6 年度				
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
事業の概要			土地区画整理事業により、都市機能(生活環境・利便性・防災性)の向上、改善を目的とする。
当該年度の実施内容及び成果			①アクション(当該年度に何を実施したか)
芝東第4土地区画整理審議会委員の改選を実施。			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
芝東第4土地区画整理審議会の成立。			③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)
審議会諮詢を要する事業の円滑な推進			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
審議会委員の改選を5年ごとに行うため、臨時予算が必要となる。			令和6年度末現在の進捗率は68.5%である。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
実績値・達成状況								
指標②	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口都市計画土地区画整理事業特別会計	2 款	3 項	2 目	1 細目	1 細々目	芝東第4事業選挙費
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)	0	0	9,834	0	0		
決算額(B)=(C)+(D)	0	0	8,938				
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0		
	一般財源(D)	0	0	8,938	0		
	概算人件費(E)	0	0	4,050	0		
従事職員人數(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			0	0	12,988	0	0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 /60	審議会委員の改選を5年ごとに行うため、臨時予算が必要となる。	翌年度	休止
		翌々年度	休止

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	芝東第5事業選挙費				担当	都市整備部 西部土地地区画整理事務所	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先			新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 6 年度	～	令和 6 年度				
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等							

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
事業の概要			土地区画整理事業により、都市機能(生活環境・利便性・防災性)の向上、改善を目的とする。
当該年度の実施内容及び成果			①アクション(当該年度に何を実施したか)
	芝東第5土地区画整理事業審議会委員の改選を実施。		②アウトプット(①を実施した結果・実績)
			芝東第5土地区画整理事業審議会の成立。
		③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
	審議会諮詢を要する事業の円滑な推進		令和6年度末現在の進捗率は99.3%である。審議会委員の改選を5年ごとに行うため、臨時予算が必要となる。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和4年度		令和5年度			
	目標値				令和6年度		令和7年度			
実績値・達成状況										
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和4年度		令和5年度			
	目標値				令和6年度		令和7年度			
実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口都市計画土地区画整理事業特別会計	2 款	4 項	2 目	1 細目	1 細々目	芝東第5事業選挙費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)			0	0	6,776	0	令和8年度	
決算額(B)=(C)+(D)			0	0	5,708			
財源※	特定財源(C)	0		0	0	0		
	一般財源(D)	0		0	5,708	0		
概算人件費(E)			0	0	4,050	0		
従事職員人件数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			0	0	9,758	0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 /60	審議会委員の改選を5年ごとに行うため、臨時予算が必要となる。	翌年度	休止
		翌々年度	休止

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	石神西立野特定事業選挙費				担当	都市整備部 北部土地地区画整理事務所	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-295-1009	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 6 年度	～	令和 6 年度				
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-② 市街地整備の推進						
根拠法令等	土地区画整理法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
事業の概要			土地区画整理事業により、都市機能(生活環境・利便性・防災性)の向上、改善を目的とする。
当該年度の実施内容及び成果			①アクション(当該年度に何を実施したか) 石神西立野特定土地区画整理審議会委員の改選を実施。
			②アウトプット(①を実施した結果・実績) 石神西立野特定土地区画整理審議会の成立。
			③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか) 審議会諮詢を要する事業の円滑な推進 令和6年度末現在の進捗率は43.5%である。 審議会委員の改選を5年ごとに行うため、臨時予算が必要となる。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	
実績値・達成状況									
指標②	名称								
	単位	指標の種別							
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	
実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口都市計画土地区画整理事業特別会計	2 款	6 項	2 目	1 細目	1 細々目	石神西立野特定事業選挙費		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		0		0		4,285		0	
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		3,542			
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0	
	一般財源(D)	0		0		3,542		0	
概算人件費(E)		0		0		48,600		0	
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	6.00	0.00	0.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		0		0		52,142		0	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	審議会委員の改選を5年ごとに行うため、臨時予算が必要となる。	翌年度	休止
		翌々年度	休止

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	景観形成委員会経費				担当	都市計画部
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6333	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 19 年度	～	年度			
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-③ 美しくうるおいのある景観形成の推進					
根拠法令等	川口市景観形成条例、川口市屋外広告物条例					

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	本市における良好な景観の形成及び適正な屋外広告物の表示等の推進を図るために必要な事項の調査審議を行うもの。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	埼玉県屋内50m水泳場・川口市北スポーツセンター及び神根西公民館整備計画についての報告及び諮問 新しい広告媒体の取り扱いに関する見直しについての議論		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	第35回 令和6年8月5日 第36回 令和7年1月28日		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	諮問事項については原案どおり答申がなされた。 報告事項については質疑が行われた。		
	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	諮問事項については行政判断の正当性が高められ、その他の事項については様々な意見を承れたことで議論が深まったと考える。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②	実績値・達成状況							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
単位	指標の種別							
目標値	令和4年度				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
指標②	実績値・達成状況							

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		8 款	4 項	1 目	5 細目	1 細々目	景観形成委員会経費		
年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
予算額(A)	135			135			135			
決算額(B)=(C)+(D)	80			45			73			
財源※	特定財源(C)			0			0			
一般財源(D)	80			45			73			
概算人件費(E)	1,925			1,975			2,025			
従事職員人件数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00		
総事業費【(A)又は(B)+(E)】	2,005			2,020			2,098			
							2,210			
							2,165			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果		期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性		高かった			施策(上位目的)への貢献		高かった	
	将来的な市民のニーズ		見込める			目的に対する事業内容		適正	
効率性	コストに対する成果		高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件		適正	15 /15
	業務プロセス改善		検討した			受益者負担の水準		適正	
	民間活用		活用の余地なし			対象者への周知		十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など					今後の実施方向性		
56 /60	委員会は必要な時期に適切かつ有意義に開催されている状況にあり、急変する社会情勢に対応するには必要があると考える。					翌年度	現状維持で実施	翌々年度

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	川口駅周辺まちづくり検討事業				担当	都市計画部 都市計画課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	242-6331	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和4年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-④ 鉄道駅周辺整備の推進						
根拠法令等							

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
令和4年3月策定の川口駅周辺まちづくりビジョンを実現するもの。			川口駅周辺まちづくりビジョンで示した、「住みやすいまち」を超えて、働き、憩い、文化・芸術に親しめるまちとして発展することで、「住み続けたいまち」・「さらなる選ばれるまち」をめざすもの。
①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年1月に示されたJR東日本による調査報告書を受け、中距離電車停車に伴う鉄道用地拡張により想定される、川口駅西口公共施設の改修に関する検討を行った。 川口駅周辺在り方検討委員会を設置した。 			川口駅西口公共施設への影響範囲を想定した改修(案)の作成 改修(案)後の駐輪場の構造解析結果 想定される施工ステップ 令和7年1月24日に第1回検討委員会を開催した。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
<ul style="list-style-type: none"> 想定される今後のスケジュールの共有 JR東日本の工事着手前に本市で行うべき工事内容の整理 工事内容に関する関係各課との共有、協議 			川口駅周辺まちづくりビジョンで示した交通拠点リニューアルプロジェクトにおける鉄道輸送力の増強を実現するため、中距離電車停車に伴う鉄道用地拡張により想定される、川口駅西口公共施設の改修に関する検討を行えた。 今回作成した改修(案)を基に、工期縮減やコスト削減を図るため、合理的な設計や施工の方法等を検討する必要がある。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別								
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
実績値・達成状況										
指標②		名称		指標・目標値の説明(算定式)						
		単位	指標の種別							
		目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8款	4項	1目	3細目	10細々目	川口駅周辺まちづくり検討事業
年度		令和4年度	令和5年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額(A)		12,650		12,848		18,964	29,942	31,706
決算額(B)=(C)+(D)		12,260		12,848		18,891		
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0	
	一般財源(D)	12,260		12,848		18,891	29,942	
	概算人件費(E)	5,775		5,530		5,670	5,810	5,810
従事職員人件費(人)	常勤	0.75	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		18,035		18,378		24,561	35,752	37,516

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	川口駅周辺のまちづくりにおいては、中距離電車のホームの増設に向けたJRとの協議、各プロジェクト等の検討項目があるため、それらの動向を引き続き注視・調整しながら本業務を進める必要がある。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	六間通り線機能・魅力向上事業			担当	建設部 道路街路課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	280-1223	新規・継続 継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-④ 鉄道駅周辺整備の推進				
根拠法令等	都市計画法第59条第1項				

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	JR川口駅とSR川口元郷駅を結節する都市計画道路の拡幅を通じて、安全・快適かつ機能的な都市活動に寄与するもの。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・賃収予定マンションの権利者交渉及び借家人補償交渉・契約 ・次年度以降賃収予定地の物件調査委託の実施 ・機能魅力向上方策検討委託の実施 (にぎわい創出に向けたアンケート調査を含む) ・昨年度賃収箇所等の管理工事 		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・借家人補償:17件 ・当該計画地内の用地買収契約の了承を得た。 ・物件調査委託:2件 ・方策等検討委託:1件(アンケート調査含む) アンケート回答数:841件(回答率:40.9%) ・管理工事:2件(昨年度賃収箇所等) 		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業進捗率の上昇 ・沿線の権利者のニーズを把握し、事業の今後の方向性を確認できた。 		
	・事業の進捗は毎年度進んでいる。 ・権利者交渉を行う事業であり、また未賃収案件について、権利者が複数存在する箇所が散見していることから、契約締結までに時間を要することが予見される。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値							
実績値・達成状況								
指標②	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値							
実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	10 目	2 細目	1 細々目	六間通り線機能・魅力向上事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		0	406,710	761,577	552,622	994,586		
決算額(B)=(C)+(D)		0	273,972	194,750				
財源※	特定財源(C)	0	251,900	136,856	480,300			
	一般財源(D)	0	22,072	57,894	72,322			
	概算人件費(E)	0	11,850	12,150	12,450	12,450		
従事職員人件数(人)	常勤	0.00	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		0	285,822	206,900	565,072	1,007,036		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閾与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	用地買収の難航に伴う事業の長期化が課題。本路線はマンションや店舗等の大型物件が多数未買収の状態であり、今後も困難な調査・交渉が予期されるため、入念な準備と工夫が求められる。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	川口駅周辺街路整備事業				担当	建設部 道路街路課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	280-1222	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和6年度	~	年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-④ 鉄道駅周辺整備の推進			
根拠法令等	都市計画法第59条第1項			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
「川口駅周辺市外市整備構想」に基く事業であり、川口駅周辺の環状道路等の整備を通じて、同駅周辺に集中している通過交通を分散させ、地域の活性化及び都市機能充実を促し、良好な都市空間の形成を目的とするもの。	川口駅周辺の通過交通を分散させることにより、歩行者の安全・快適性の向上に加え、防災性等の都市機能が充実すること。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	権利者交渉 2件	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
		令和6年度での買収はできなかったが、次年度での買収について内諾を得た。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	令和7年度買収予定 1件	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
		今後も川口駅周辺の交通分散による、安全・快適性の向上を継続していくが、用地買収の必要があり、事業終了まで長期化が想定される。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
実績値・達成状況									

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8款	4項	10目	2細目	2細々目	川口駅周辺街路整備事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		0	0	10,333	33,309	85,586		
決算額(B)=(C)+(D)		0	0	0	0			
財源※	特定財源(C)	0	0	0	27,100			
	一般財源(D)	0	0	0	6,209			
	概算人件費(E)	0	0	8,100	8,300	8,300		
従事職員人數(人)	常勤	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00		
従事職員人數(人)	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		0	0	8,100	41,609	93,886		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
56 /60	用地買収の難航に伴う事業の長期化が懸念される。本事業はマンション等の大型物件が多数未買収の状態である路線を含んでおり、今後も困難な調査・交渉が予期されるため、入念な準備と工夫が求められる。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	民間建築物アスベスト対策補助事業				担当	都市計画部 建築安全課
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-242-6367	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度	～	年度						
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好的な住環境の整備								
根拠法令等	川口市民間建築物アスベスト対策事業補助金交付要綱								

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金		
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)				事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	アスベスト含有の恐れのある建築物所有者に対して注意、啓発を行うことで、アスベストの飛散による市民の健康被害を防止し、生活環境の保全を図る。				アスベストの飛散による市民の健康被害の防止により、安全で安心して暮らすことのできる良好な住環境の形成を図る。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)				②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	建築物のアスベスト除去等を実施する所有者等に対して経費の一部を補助。 ・アスベスト含有吹付け建材の除去に要した費用の2/3の額の補助				建築物アスベスト対策事業 1件 補助金額 3,000,000円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)				①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	当該建築物所有者及び施設利用者、近隣住民をはじめとした市民等の健康被害の防止を図ることができた。				市内には依然としてアスベストの飛散の恐れのある建築物が存在していることから引き続き事業を実施する必要性がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	4 目	3 細目	2 細々目	民間建築物アスベスト対策補助事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
決算額(B)=(C)+(D)		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
財源※	特定財源(C)	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	一般財源(D)	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	概算人件費(E)	1,540	1,580	1,620	1,660	1,660	1,660	1,660
従事職員人件数(人)	常勤 再任用	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20 0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		4,540	4,580	4,620	4,660	4,660	4,660	4,660

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行つた	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	市内にはアスベストを含有する建築物が存在しているため、今後も市ホームページへの掲載、所有者への案内など積極的な周知を行い事業の促進に努めたい。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	住宅政策事業				担当	都市計画部 住宅政策課
事業区分	通常事業	-		問い合わせ先	048-242-6326	新規・継続 継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 27 年度	～	年度						
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好的な住環境の整備								
根拠法令等									

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	直営			
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)							
	住民福祉の向上を目的に、高齢者・子育て世帯・住宅確保要配慮者への住環境改善や既存住宅の有効活用を進め、災害時には迅速かつ柔軟な住居提供を行います。							
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)				
	・住宅政策の企画・立案を通じた住環境整備の推進。 ・住宅・建築物に関する相談窓口の運営と対応。 ・住宅改修資金助成による既存住宅の有効活用促進。 ・サービス付き高齢者向け住宅、住宅確保要配慮者向け賃貸住宅登録支援。			・省エネルギー基準の向上やバリアフリー化を支援。 ・市内の景気活性化。(改修工事を市内の業者が請け負うことで経済効果が生まれる) ・住宅改修資金助成金制度を利用した住宅改修件数:年間812件。 ・市内業者による施工を支援し、地域経済効果として1,516,925,055円を創出。				
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題				
	・建築相談窓口を提供し、市民の住まいに関する課題や相談に対応しました。 ・住宅改修資金の一部助成を行い、安全で快適な住環境づくりを支援しました。 ・市民が安心して住み続けられるよう、良好な住環境の整備を促進しました。			政策による成果が一定程度確認されている一方で、災害対応、住宅供給の偏りや不足といった課題が依然として残っています。「誰もが“安全で快適に暮らせるまち”」を実現するために、地域特性や対象者の多様性を踏まえながら、政策を柔軟に拡充することが今後重要となります。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値・達成状況							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	5 項	1 目	4 細目	1 細々目	住宅政策事業
年度		令和4年度	令和5年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額(A)		60,085		73,585		72,203	55,283	55,283
決算額(B)=(C)+(D)		57,834		71,218		70,272		
財源※	特定財源(C)	5,431		3,591		2,062	1,751	
	一般財源(D)	52,403		67,627		68,210	53,532	
	概算人件費(E)	19,250		19,750		20,250	20,750	20,750
従事職員人件数(人)	常勤	2.50	0.00	2.50	0.00	2.50	0.00	2.50
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		77,084		90,968		90,522	76,033	76,033

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
54 /60	住宅改修資金助成金については、長引ぐ物価高騰や申請状況等を注視しつつ、限られた予算の中でも一層費用対効果を高めるべく、事業を実施していく必要がある。今後、市内の住宅改修事業者の需要の更なる需要喚起に向けて事業を実施するよう努める。		現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	空家等対策事業				担当	都市計画部 住宅政策課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-7805	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 27 年度	~	年度						
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好的な住環境の整備								
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、川口市空家等対策に関する条例、川口市空家対策協議会条例								

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	直営	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)				事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	・空き家対策を実施することにより、良好な住環境を整備していくことを目的とする。				・良好な住環境	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)				②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・空家等への相続財産清算人選任申立て ・未接道老朽家屋に対する除却補助金				・空家等への相続財産清算人選任申立て(3件) ・未接道老朽家屋に対する除却補助金(1件)	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)				①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・市民から通報があった空き家のうち、老朽化した不良住宅を除却することで市民の安全が向上し、所有者がおらず今後適切な維持管理が行われる見込みのないものに管理人を付けることで売却等が行われる。				・市民からの通報により空き家を確認しているため、通報がない場合は空き家がそのままの状況になってしまっている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	相談があつた空き家の問題解決率		指標・目標値の説明(算定式)	改善措置が講じられた相談空き家等の累計件数÷相談空き家等の累計件数			
	単位	%	指標の種別		成果			
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	
		67.00			67.00		67.00	
指標②	実績値・達成状況	70.00	達成	68.00	達成	67.00		
	名称	所有者不明の空家等の解消		指標・目標値の説明(算定式)	略式代執行の執行件数+相続及び不在者財産管理人選任の申立件数			
	単位	件	指標の種別		成果			
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	
		1.00			1.00		1.00	
	実績値・達成状況	5.00	達成		2.00	達成	3.00	

4 年度別事業費(単位:千円)

	予算費目	川口市一般会計	8 款	5 項	1 目	4 細目	2 細々目	空家等対策事業
	年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度
	予算額(A)	6,513			10,751			9,813
	決算額(B)=(C)+(D)	5,824			3,575			3,704
財源※	特定財源(C)	396			760			322
	一般財源(D)	5,428			2,815			3,382
	概算人件費(E)	15,400			15,800			16,200
	従事職員人件費(人) 常勤 再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00 0.00
	総事業費[(A)又は(B)+(E)]	21,224			19,375			19,904
								29,153 23,195

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市閥与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価 48 /60	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
	空き家問題は本来的には民事で解決すべきであるところ行政が関与することになったものの、民事法制度や不動産法制度の改正もあり、解決した案件が増えている。空き家に関する法律の改正も行われ、今後より解決に向かう案件の増加、また、行政としての対応手段の拡張に繋がると考えている。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	マンション対策事業				担当	都市計画部 住宅政策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-7805	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和4年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好的な住環境の整備						
根拠法令等	マンションの管理の適正化の推進に関する法律、マンションの管理の適正化の推進に関する法律施行規則、川口市マンション管理適正化推進条例						

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	一部委託					
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)						
	都市化の進展や市民の住生活を取り巻く環境の変化に伴い、多数の区分所有者が居住するマンションの重要性が増大していることに鑑み、マンションの区分所有者等に対し、マンションの管理の適正化等を推進する。			マンションにおける良好な居住環境の確保を図ることを目的とする。						
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・管理不全の兆候があるマンションに対し管理適正化の支援 ・法第5条の4に基づく管理計画の認定 ・条例第8条に基づくマンション管理状況等の定期報告 ・条例第14条に基づくマンションの防災性能及び管理組合の防災体制の認定 ・マンションに関する相談及びマンション管理士派遣 			<ul style="list-style-type: none"> ・管理不全の兆候があるマンションに対し、マンション管理士を派遣し、管理規約及び修繕積立金等に関する支援を実施。 ・法第5条の4に基づく管理計画の認定(2件) ・条例第8条に基づくマンションの管理状況等の定期報告 ・マンションに関する相談(16件) ・マンション管理士派遣(1件4回) 						
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題						
	マンションにおける良好な居住環境の確保が図られた。			条例第8条に基づくマンションの管理状況等の定期報告において、報告がないマンションが一定数存在している。マンション管理の適正化を推進するための措置を講ずるには、市内マンションの現状を把握することが重要であることから、報告がないマンションに対して、どうように報告を促していくかが課題となる。						

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	マンション管理相談件数		指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	件	指標の種別		年間相談可能件数の60%			
	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		22.00			22.00	22.00	22.00	
指標②	名称	川口市防災認定マンション認定数		指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	件	指標の種別		新規認定数及び2年に1度の更新認定数			
	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		1.00			1.00	1.00	1.00	
	実績値・達成状況	2.00	達成	0.00	未達成	2.00	達成	

4 年度別事業費(単位:千円)

	予算費目	川口市一般会計	8 款	5 項	1 目	6 細目	1 細々目	マンション対策事業
	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	予算額(A)		2,380		3,061		3,301	
	決算額(B)=(C)+(D)		1,860		2,544		2,758	
財源※	特定財源(C)		0		0		0	
	一般財源(D)		1,860		2,544		2,758	
	概算人件費(E)		7,700		7,900		8,100	
	従事職員人件費(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00
	総事業費[(A)又は(B)+(E)]		9,560		10,444		10,858	

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	市営住宅施設運営費			担当	都市計画部 住宅政策課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6325	新規・継続 継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	V	誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好的な住環境の整備		
根拠法令等	公営住宅法			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
事業の概要			市営住宅を適正に運営する。
当該年度の実施内容及び成果			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
・継続して独立行政法人都市再生機構から賃貸住宅を借り上げ、市営住宅として運用した。 ・明渡等請求訴訟については対象者に該当するものがいなかつたため実施していない。 ・住宅使用料等の口座振替を行った。 ・納付済通知書のデータ化(日計処理)業務委託を行った。			独立行政法人都市再生機構から借り上げた賃貸住宅の戸数:69戸 住宅使用料等の口座振替件数:22,711件 日計処理件数:5,266件
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
継続して独立行政法人都市再生機構から公営住宅を借り上げることにより、市内の住宅困窮者が入居可能な住戸を確保した。 入居者が住宅使用料等を支払う際の利便性の向上、収納率向上及び収納事務の効率化に繋がった。			借り上げている公営住宅の賃貸借契約について、今後更新を行うのか、更新しない場合は空き住戸への入居を進めていくのか等を検討する必要がある。また、依然として滞納の解消に至っていない入居滞納者がいるため、今後も悪質な滞納者に対しては明渡等請求訴訟の提起を行い、適正な市営住宅運営を継続する必要がある。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別								
	目標値	令和4年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
実績値・達成状況										
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別								
	目標値	令和4年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	5 項	2 目	2 細目	1 細々目	市営住宅施設運営費	
年度		令和4年度	令和5年度			令和6年度		令和7年度	令和8年度
予算額(A)		72,218	72,028			70,903		68,309	68,309
決算額(B)=(C)+(D)		68,650	67,282			68,161			
財源※	特定財源(C)	40,332	38,964			37,208		41,330	
	一般財源(D)	28,318	28,318			30,953		26,979	
概算人件費(E)		3,080	3,160			3,240		3,320	3,320
従事職員人件費(人)	常勤	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		71,730	70,442			71,401		71,629	71,629

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
58 /60	令和6年度は訴訟対象案件がなかったが、住宅使用料等の滞納長期化は、市営住宅の明渡等請求訴訟、その後の強制執行、差押え等につながり、多くの業務量や費用が必要となるため、平時より住宅使用料等の滞納の早期解消に努める。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	市営住宅施設管理費				担当	都市計画部 住宅政策課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6325	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 25 年度	～	年度						
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好的な住環境の整備								
根拠法令等	公営住宅法								

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	市内に居住し、真に住宅に困窮する低所得者に対し、市営住宅を提供する。		
	市営住宅入居者に対し、適正な市営住宅の管理を行う。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	・川口市を含む県内13自治体、約38,000戸の管理実績により培ったノウハウ等を持つ埼玉県住宅供給公社に市営住宅管理の管理代行及び業務委託を行った。 ・市営住宅の募集を年3回実施した。 ・住宅使用料の滞納者へ督促状、催告書を発送し、悪質な滞納者へは夜間臨宅を実施することで債権回収を強化した。		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	市営住宅募集戸数:112戸、市営住宅入居戸数:53戸 ・督促状発送件数:1,977件 ・催告書発送件数:610件 夜間臨宅件数:7件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	住宅困窮者へ住居を提供するとともに、市営住宅の入居者に係る様々な対応等を行い、市営住宅の適正な管理を行った債権回収業務を継続したことにより令和6年度も住宅使用料収納率99%を達成した。		
	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	悪質滞納者の滞納解消に至っていないケースがあるため、今後も随時面談等を実施していく必要がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標②	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度						
指標③	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度						
指標④	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑤	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑥	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑦	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑧	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑨	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑩	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑪	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑫	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑬	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑭	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑮	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑯	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑰	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑱	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑲	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標⑳	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標㉑	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標㉒	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標㉓	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標㉔	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標㉕	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標㉖	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標㉗	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標㉘	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標㉙	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標㉚	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標㉛	名称							

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	建築審査会経費				担当	都市計画部 建築安全課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6343	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 46 年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好的な住環境の整備			
根拠法令等	建築基準法、川口市建築審査会条例、川口市建築審査会規則			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)		
	特定行政庁(川口市)から建築基準法に基づく特例許可への同意を求められた際の審議や処分に不服のある者から審査請求があった場合の裁決等を公平中立的な立場で行う。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	令和6年度は川口市建築審査会を9回開催し、建築基準法に規定する許可の申請について審議を行った。		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	接道規定に関する許可19件 第一種低層住居専用地域内における建築物の用途制限に関する許可1件 総合設計制度による許可1件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	建築基準法に規定する許可の申請について、交通上や安全上等において支障がないことの審議を行い、全て同意した。		
	許可処分の内容に応じ、それぞれの基準に基づき公共の福祉の観点から公正な判断を行い、建築行政において大きな役割を担った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
指標②	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度						
指標③	実績値・達成状況						指標・目標値の説明(算定式)	
	名称							
	単位	指標の種別						
指標④	目標値	令和4年度					指標・目標値の説明(算定式)	
	実績値・達成状況							
	名称							
指標⑤	目標値	令和4年度					指標・目標値の説明(算定式)	
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	4 目	2 細目	1 細々目	建築審査会経費
年度		令和4年度	令和5年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額(A)		1,081	1,335			1,253	1,283	1,283
決算額(B)=(C)+(D)		577	606			864		
財源※		特定財源(C)	606			864	1,283	
一般財源(D)		0	0			0	0	
概算人件費(E)		7,700	7,900			8,100	8,300	4,150
従事職員人件費(人)		常勤	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.50
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		8,277	8,506			8,964	9,583	5,433

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
56 /60	事業の遂行には、建築関係法令に精通した高い専門的知識と公共の福祉に関し公正な判断力が求められる。そのため、建築審査会委員及び特定行政庁に携わる職員は、研修会等に積極的に参加し新しい知識を身につけ、様々な業務経験を積み、スキルアップを図っていく必要がある。		現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	道路後退用地分筆補助事業				担当	都市計画部 建築安全課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6344	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	4 年度	~	年度						
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好的な住環境の整備									
根拠法令等	川口市道路後退用地整備要綱、川口市道路後退用地整備要領、川口市道路後退用地整備要綱補助金交付基準									

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金		
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)				事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	災害時や日常の自動車、歩行者等の通行に支障をきたしている幅員4m未満の狭い道路(公道)に接している土地所有者に建築等で道路幅員4mを確保するよう後退した部分(後退用地)の分筆と市への寄附を促す。				狭い道路が拡幅整備されることにより、緊急時や災害時はもとより、日常生活においても安全性、利便性が向上した住環境の形成を図る。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)				②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	当該年度において、後退用地を寄附した際にかかる経費の一部を補助。 ・分筆に係る調査、測量、登記等の経費の2/3(限度額12万円)				分筆に係る補助 14件 補助金額合計 1,566,000円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)				①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	狭い道路の拡幅による、周辺の安全性、利便性の向上。				市内には依然として多数の狭い道路があることから引き続き事業を行っていく必要性がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別					
目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況						
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別					
目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況						

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	4 目	3 細目	1 細々目	道路後退用地分筆補助事業
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	令和8年度
予算額(A)		1,680	1,680		9,600		9,600	9,600
決算額(B)=(C)+(D)		1,565	954		1,566			
財源※	特定財源(C)	0	0		1,483		9,100	
	一般財源(D)	1,565	954		83		500	
概算人件費(E)		3,080	3,160		3,240		3,320	3,320
従事職員人件費(人)	常勤	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		4,645	4,114		4,806		12,920	12,920

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	建築に伴う寄附が条件であることから景気の動向に左右される面があり、申請件数は例年並みの実績であった。制度について、ホームページへの掲載、チラシの配布等により引き続き周知を図っていく。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	既存建築物耐震改修促進補助事業				担当	都市計画部 建築安全課
事業区分	通常事業	~	問い合わせ先	048-242-6344	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度	~	年度						
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好的な住環境の整備								
根拠法令等	川口市既存建築物耐震改修補助金交付要綱、川口市既存建築物耐震診断補助金交付要綱								

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	補助金・負担金			
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)							
	昭和56年5月31日(木造在来軸組構法2階建て住宅は平成12年5月31日)以前に工事を着手し、建築された、住宅(共同住宅等を含む)の所有者等に耐震診断、耐震改修工事費を補助する。							
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)							
	耐震性のない建築物所有者等に対し経費の一部を補助。 ・耐震診断費用の2/3(戸建住宅は上限6万5千円。共同住宅は1戸あたり5万円、上限150万円。多数の者が利用する建築物は上限150万円)。 ・耐震改修費用の23%を補助。戸建住宅は上限40万円。共同住宅等は1戸あたり30万円、上限300万円。							
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)							
	耐震診断 20件 耐震改修工事 7件 補助金額合計 6,946,000円							
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)							
	耐震性のない建築物の耐震化。 市内には依然として多数の耐震化されていない建築物があることから引き続き事業を行っていく必要性がある。							

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	住宅の耐震化率		指標・目標値の説明(算定式)	耐震化率:1-(耐震性なしの旧耐震基準戸数:総戸数)×100%にて算出。川口市耐震改修促進計画による耐震化率の目標は令和7年度末で95%。					
	単位	%	指標の種別		成果	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値					95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
	実績値・達成状況	91.10	未達成		91.50	未達成		91.63	未達成	
指標②	名称	多数の者が利用する建築物の耐震化率			指標・目標値の説明(算定式)	耐震化率は上記と同じ計算式。川口市耐震改修促進計画による耐震化率の目標値は令和2年度末で95%、3年度以降はおおむね解消する。				
	単位	%	指標の種別	成果		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値					95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
	実績値・達成状況	91.00	未達成		91.10	未達成		91.70	未達成	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	8 款	4 項	4 目	3 細目	3 細々目	既存建築物耐震改修促進補助事業
年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)			5,650	5,419	6,946	19,529	11,800		
決算額(B)=(C)+(D)			5,402	4,630	6,946				
財源※	特定財源(C)		2,701	2,315	3,473	10,491			
	一般財源(D)		2,701	2,315	3,473	9,038			
概算人件費(E)			15,400	15,800	16,200	16,600	16,600		
従事職員人件数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			20,802	20,430	23,146	36,129	28,400		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	住宅及び多数の者が利用する建築物の耐震化を進めているが、令和6年度末の耐震化率(住宅:95%、多数の者が利用する建築物:95%)は未達成となった。 令和3年度に改訂した耐震改修促進計画に基づき、耐震化を促進していく。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	既存ブロック塀等安全対策補助事業				担当	都市計画部 建築安全課
事業区分	通常事業	~	問い合わせ先	048-242-6367	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元 年度	~	年度				
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好的な住環境の整備							
根拠法令等	川口市既存ブロック塀等安全対策補助金交付要綱							

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	・通学路に面する倒壊するおそれのある既存ブロック塀等の撤去又は改修の促進。 ・H30年大阪北部地震でブロック塀が倒壊し、通学途中の児童が犠牲になる事故が発生した。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか) 通学路に面する既存ブロック塀等の撤去工事及び改修工事を実施する所有者等に対して経費の一部を補助。 ・撤去工事:経費の2/3(限度額30万円)を補助 ・改修工事:経費の2/3(限度額20万円)を補助		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績) 17件の補助を行った。 補助金額合計 4,404,000円		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか) ・危険と判断した既存ブロック塀等の解消 ・通学路の安全確保		
	市内には依然として危険と判断した既存ブロック塀等が存在していることから是正率の達成に向けて引き続き事業を実施する。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)								
	単位	指標の種別										
目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度	令和8年度						
	実績値・達成状況											
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)								
	単位	指標の種別			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度							
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	8 款	4 項	4 目	3 細目	4 細々目	既存ブロック塀等安全対策補助事業			
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
予算額(A)		6,000	6,231	4,704	6,000	6,000					
決算額(B)=(C)+(D)		4,871	6,231	4,404							
財源※	特定財源(C)		2,409	3,115	2,202	3,000					
	一般財源(D)		2,462	3,116	2,202	3,000					
概算人件費(E)		3,080	3,160	3,240	3,320	3,320					
従事職員人件数(人)	常勤	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		7,951	9,391	7,644	9,320	9,320					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	市内には依然として危険と判断した既存ブロック塀等が存在しているが、所有者等による撤去、改修は景気に左右されるなど整備が進まない状況である。引き続き、広報誌への掲載、所有者等に案内など周知活動を行うほか、市内の設計事務所、工事施工業者等との協力体制を活用し事業の促進に努めたい。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	狭あい道路拡幅整備事業				担当	都市計画部 建築安全課	
事業区分	通常事業	~	問い合わせ先	048-242-6344	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和5年度	~	年度								
第5次川口市総合計画	V 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”-1 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進-⑤ 良好的な住環境の整備										
根拠法令等	川口市狭あい道路拡幅整備助成金交付要綱、川口市狭あい道路拡幅整備助成金交付要領、川口市狭あい道路拡幅整備助成金交付基準										

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金					
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)								
	後退義務のない狭あい道路に接する角地等の土地所有者に、当該狭あい道路の後退用地及び隅切り用地について市への寄附を促す。								
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)				②アウトプット(①を実施した結果・実績)				
	後退用地を寄附した際にかかる経費の一部を補助。 ・分筆登記助成:経費の2/3 上限35万円 ・支障物撤去助成:経費の2/3 上限30万円 ・道路拡幅協力助成:上限95万円※ ・隅切り設置協力助成:上限25万円※ ※面積×固定資産税路線価				3件の補助を行った。 補助金額合計 3,046,000円				
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)				①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題				
	狭あい道路の拡幅による、周辺の安全性、利便性の向上。				市内には依然として多数の狭あい道路があることから引き続き事業を行っていく必要性がある。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
指標②	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績値・達成状況							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
指標②	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	4 目	3 細目	7 細々目	狭あい道路拡幅整備事業	
年度				令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
予算額(A)				0	19,000		31,330	23,182	17,000	
決算額(B)=(C)+(D)				0	5,813		15,036			
財源※	特定財源(C)				0	5,506	14,813	22,282		
	一般財源(D)				0	307	223	900		
概算人件費(E)				0	3,160		3,240	3,320	3,320	
従事職員人件数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]				0	8,973		18,276	26,502	20,320	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	後退義務のない角地等における市への寄附であることから、所有者等に狭あい道路の拡幅について丁寧に説明を行い協力を得なければならない。補助金交付件数は若干減少した。今後も土地所有者等に協議を行っていく。	翌年度	現状維持で実施